

会長のページ 第23回参議院比例代表選挙について	稲倉 正孝	3
日州医談 医師国民健康保険組合の現況について	高橋 政見	4
エコー・リレー(454)	田中 充, 平嶋 佑子	6
メディアの目 IC乗車カードが使えない	森 耕一郎	10
宮崎大学医学部だより(感覚運動医学講座整形外科学分野)	坂本 武郎	14
専門分科医会だより(精神科医会)	吉田 建世	16
診療メモ 在宅死に係る諸問題	大西 雄二	58

あなたできますか?(平成24年度医師国家試験問題より)	7
宮崎県感染症発生動向	8
各都市医師会だより	12
九州医師会連合会第33回常任委員会	17
平成24年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会	18
薬事情報センターだより(313) 予防接種法の一部改正	23
日医インターネットニュースから	24
理事会日誌	26
県医の動き	34
ベストセラー	35
追悼のことは	36
会員の異動・変更報告	38
ドクターバンク情報	41
行事予定	45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	47
あ と が き	62
~~~~~	
お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集 .....	11
クールビズについて .....	22
県医師会在宅医療協議会入会のご案内 .....	33
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ .....	35
第14回宮崎県医師会医家芸術展作品募集! .....	57
郡市医師会への送付文書 .....	60

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 写真〕

### 頑張れかたつむり

登りつめなお登らんと蝸牛

田崎 詩門

診療が終ると庭の中の写真を撮るのが、楽しみです。2匹の蝸牛が、紫陽花の葉を競うように登っているのを接写してみました。後期高齢者になっても1日1日前を向いて生きたいものです。

宮崎市 田崎 高伸

## 会長のページ

## 第 23回参議院比例代表選挙について

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

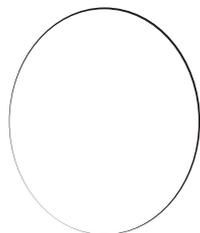
第 23回参議院選挙は 7月 4日 公示，7月 21日 投開票に固まった。過去の選挙結果を調べてみると，平成 13年の第 19回選挙では，武見敬三氏が 227,042票，平成 16年の第 20回選挙では西島英利氏が 250,426票を獲得し，2人とも当選している。それより後の第 21回及び第 22回の選挙では 20万票に及ばず全員落選しており，日医連の集票力の低下が著しい。宮崎県での得票数をみてみると，第 19回選挙で武見敬三氏が 2,979票，第 20回選挙では西島英利氏が 5,746票を獲得している。

日医連では，今回の「羽生田選挙」を日医連の命運をかけた戦いと位置づけ，会員の絶大な協力をお願いしている。サポーター名簿の獲得目標数は全国で 300万人，宮崎県で 26,000人である。5月 20日現在での，宮崎県医師連盟のサポーター名簿の回収状況は 9,757人(回収率 37.5%)である。サポーター名簿は選挙期間中(公示日～投票日前日)は集めることはできないので，実質 6月一杯となっている。診察室に室内用ポスターを貼って，患者さんに日本の医療保険制度の素晴らしさと危機等について説明すると，協力を納得される方が多い。宮崎県医師連盟としては A 会員 1人当り 50人以上のサポーター名簿の収集，1票以上の投票獲得をお願いしている。

日本の医療保険制度の特徴は，国民皆保険，フリーアクセスおよび現物給付である。公的医療保険の財源は保険料 50%，税金 35%，個人負担 15%となっており，保険料は収入に応じて負担しているが，受けられる医療は保険料に関係なく平等である。困った時は，助け合うという相互扶助の精神である。1万円の保険料を支払って，一部負担はあるものの，2万円の医療が受けられる。しかし，民間の医療保険では，1万円の保険料を支払っても 5～6千円の医療しか受けられない。しかも，支払う保険料によって受けられる医療に格差が生じ，医療の質が低下し，医療費が高くなり，営利企業である株式会社による医療の支配がおきる。

国，地方合わせて 1,000兆円とも云われる借金，予算に占める税収が 50%に満たないという国の巨額の財政赤字，TPPによる営利企業の医療への参入問題，消費税率アップを間近に控えた控除対象外消費税を含めた医業税制問題等，医療をとり巻く環境には極めて厳しいものがある。日本の医療政策は国会で決められる。日本医師会を代表する国会議員がここ数年間一人もいなかったことが，重要な情報収集，官僚との交渉などに支障をきたし，日本医師会の政策を政治に十分反映できなかった大きな原因の一つであると考えられる。会員の皆様におかれましても，今回の参議院選挙の持つ重大な意味に鑑み，絶大な協力をお願いします。(平成 25年 6月 3日)

## 日州医談



## 医師国民健康保険組合の現況について

たか はし まさ み  
理事 高 橋 政 見

日本型医療「変える必要」「誰でもいつでもどこでも」限界という見出しの新聞記事が4月23日に大きく掲載されました。超高齢化社会を迎える中、急増する医療・介護費用の伸びを抑え、信頼される社会保障制度を築くことが急務であるとして、その方策を議論している政府の社会保障制度改革国民会議が、4月22日に医療・介護についての論点をまとめ発表されたものです。

日本は国民皆保険制度のもと全国民がどれかの保険に加入しています(図参照)。国民がすべて何らかの医療保険制度に加入し、病気やけがをした場合に医療給付が得られることは、昭和36年に全国の市町村で国民健康保険事業が始まり確立しました。私も現在も医師国保組合の保険証を持っていて、いつでも、どこでも自由に医療を受けられます。しかしこの全国民が当たり前と思っていることが、当たり前ではなくなる日が来るかもしれません。

この国民会議では、保険証一枚で自由に医療機関を選べる「フリーアクセス」について、軽い病気でも大病院を受診したり、受診回数や医療費が増えたりするなどの弊害が指摘され、「医療は限りある公共財であるので、必要な時に、適切な医療を、適切な場所で、最小の費用で受けられるように変える必要がある」また「海外では、限りある財源の中で最善の医療を効率よく行うための工夫をしている国も多い」等として、改革の必要性を強調しています。

医師国保組合は図では、国保組合 31万人(164

組合)の中に属していて、この中で医師国保組合が4組合、被保険者数は合計で約32万人です。ちなみに宮崎県医師国保組合の現在の被保険者数は約1,700人です。小さな国保組合ながら、皆保険制度確立前の昭和33年設立以来、先輩方の努力で立派に運営されてきていると思いますが、それはあくまでも日本の医療保険制度の枠組みの中で成り立っているということです。医師国保組合はこの全国的な医療制度改革でどのような方向に流されていくのか、いつどのような形に決まっていくのか予断を許さない状況です。

また、この会議の中で、国保組合に対する国庫補助金廃止についても検討されることになっています。民主党政権下の平成22年11月の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、国保組合に対する国庫補助を見直すこととされ、担当3大臣の合意がなされました。これは所得水準の高い国保組合については、法律に定める32%の定率補助を5年間かけて0%にするというものであり、全国すべての医師国保組合が対象となっていました。この改正法案は9月に閉会した第18回通常国会には提出されませんでした。しかし、自民政権下でも高齢者医療制度とセットで検討することになっております。

国保組合に対する国庫補助は、所得水準に係わらず医療給付費の一定率32%(健康保険適用除外者分は13%)を補助する部分と、所得水準に応じて補助する部分に分かれています。このうち、財政力に応じた「普通調整補助金」については、

すでに当組合は0%になっていて、国の「保険者間の公平を確保する観点から、所得水準の高い国保組合に対する定率国庫補助を見直す」としている根拠には当てはまらないわけです。定率国庫補助金とは、法律に定められた国の負担事項であり、一時の時勢に流された判断は許されるものではないと思います。

後期高齢者支援金は、40歳以上の方に受けていただく特定健診・保健指導の目標達成率が悪いと、加算されることになっていますが、当組合は到底目標値には届いておりませんので増額されることとなります。前期高齢者納付金も含めて負担金がそのまま、補助金がカットされることになると、国保組合の運営は大変厳しいものになります。政権が自民党に変わって、新内閣がどのような考え方で臨むのかを、慎重に見守る必要があると思います。

組合員資格の確認調査について

平成 22年に発覚いたしました全国建設工事業国民健康保険組合における多数の無資格加入者問題は、行政処分されるとともに、国庫補助の返還命令が発出されました。その後、会計検査院は13都道府県の23の医師・歯科医師・薬剤師国保組合に対しまして、「組合員資格を正しく確認し、その管理が適正に行われているか」に着目した実地調査を行いました。当該国保組合以外においても多数の無資格者が指摘されております。

この結果、「国保組合は、同種の事業または業務に従事するもので国保組合の地区内に住所を有するものを組合員として組織すると規定されている。したがって、三師会の会員という特定の資格を有することをもって、事業または業務に従事していなくとも組合員になることができるものではない」という

意見表示がなされました。その是正処置として、平成 23年 10月会計検査院長から厚生労働大臣に対して、全ての国保組合員の資格の調査及びその結果の報告を求められたことから、本組合においても、宮崎県の指導により、組合員の資格確認調査を実施し、その結果を厚生労働省に報告することとなっております。また今後、定期的に再確認を実施するよう指導されております。

本組合においては、過日開催の組合会にて規約改正を行うとともに組合員資格調査に関する要綱と判定基準を定め、平成 25年 4月 1日付けで施行することとなり、組合員の皆様に調査書を送付いたしました。この確認調査により、加入資格がないことが判明した場合及び資格確認調査書等を提出して頂けなかった場合には資格確認を行う事が出来ず、資格喪失手続きを行っていただくこととなります。皆様方にはご面倒をおかけいたしましたが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

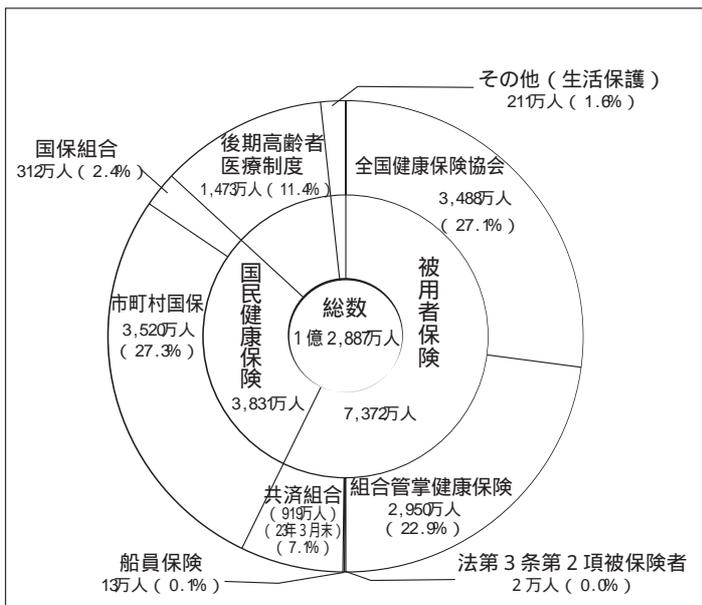


図 医療保険制度の加入者等(平成 24年 3月末現在)

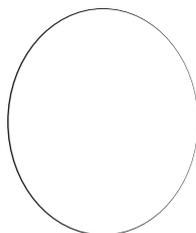
# エコー・リレー

( 45回)

(南から北へ北から南へ)

## Happiness Year

小林市 たなか循環器内科 たなか 中 充  
クリニック



昨年 12月に小林市で開院させていただきました。まだまだ新参者ですので、皆様の御指導御鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。

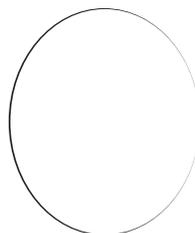
5月3日から6日までのゴールデンウィークを利用し、東京ディズニーリゾートへ家族旅行をしてきました。今年は、ディズニーランドが開業してから30周年(Happiness Year)ということもあり、1日8万人以上の入場者があったそうです。それだけにすべてのアトラクションは長蛇の列。人気のアトラクションによっては、待ち時間が6時間を超えるところも。入場券を利用して、待ち時間を短縮するファストパスチケット(FPT)を手に入れることができますが、これだけ人が多いとそのFPTの取得も困難でした。人気アトラクションは、朝8時の入園後すぐに、1日分のFPT発行が完了してしまいました。今回は、FPT利用のアトラクションは1つが限界でした(関連ホテル宿泊パッケージでは複数のFPT特典もあるようです)。その他のアトラクションはひたすら待つのみ。それでも、ディズニーは偉大で、家族は大変満足してくれました。

《ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと》(鎌田 洋 著)の中に、ウォルト・ディズニーの言葉で「人生の素晴らしい瞬間というのは、自分一人のためよりも、愛する者たちのために行ったことに結びついている」とあります。長い待ち時間も、人生の素晴らしい瞬間であったと思います。

[次回は、延岡市の野村 郁夫先生にお願いします]

## 延岡登山

延岡市 出北眼科 ひらしま ゆうこ  
平 嶋 佑 子



3年前に術後の体力低下に悩まされたのをきっかけに、徒歩通勤や筋トレを始めました。歩いている途中で汗をかくので、温度調節のために登山用の服を着るようになり、そのうち山に登りたくなってきました。「 県の山」シリーズ

を眺めていると綺麗な写真に魅せられていよいよ山に行きたくくなります。とはいっても子連れ登山になるので、まずウォーキングで子供の体力をつけて標高300mの愛宕山に登りました。次に行藤山の滝まで、そして行藤山頂上、ゴールデンウィークには佐伯の元越山に登ることができました。

体力作りには筋トレや走った方が効率的ですが、山は景色が格別です。行藤山は杉巨木の林、様々な橋、岩登り、滝、木のはしご、鎖で沢渡り、沢沿いのコースなど変化に富み登ること自体が楽しい山です。元越山は佐伯の海岸に位置する山で、2つの登山道があります。このうち色利コースは海岸側から登ります。道中に太平洋を見渡す展望所が5か所あり頂上では360度の眺望が望めます。途中の「木漏れ日の林」は傾斜も軽く、落ち葉の上をサクサクと進んでいると永遠に歩いていitくなるような心地よさが味わえます。

仕事でもふと山の景色が思い出され、しばらく余韻が残ります。

次は可愛岳、烏帽子岳、尾鈴山、いつかは大崩山に登ってみたいです。

気候と暮らしやすさに惹かれて延岡に開業しましたが、低山へのアクセスのよさも秀逸です。気分転換と有酸素運動をしなくなったら是非、県北を訪れてみてください。

[次回は、宮崎市の中島 紫織先生にお願いします]



# あなたできますか？

平成 24年度 医師国家試験問題より

( 解答は 6ページ )

1. 合併症妊娠と起こりやすい異常の組合せで正しいのはどれか。

- a 糖尿病 ————— 頸管無力症
- b 慢性腎炎 ————— 前置胎盤
- c 気管支喘息 ————— 双胎間輸血症候群
- d 甲状腺機能亢進症 ————— 巨大児
- e 全身性エリテマトーデス ( SLE ) — 流産

2. 症候群と病態・疾患の組合せで正しいのはどれか。

- a Boerhaave症候群 — 好酸球性胃腸炎
- b Dubin - Johnson 症候群 — 消化管ポリポーシス
- c Gardner症候群 — GIST ( gastrointestinal strom al tumor )
- d Gilbert症候群 — ビリルビン代謝異常
- e Zollinger - Ellison 症候群 — 膵・胆管合流異常症

3. 我が国の不妊症の現状について正しいのはどれか。

- a 出生 500人に約 1人が体外受精児である。
- b 女性不妊の頻度は男性不妊の約 5倍である。
- c 40歳代女性の不妊症の頻度は約 10%である。
- d 同年齢層では体外受精の流産率は自然妊娠よりも高い。
- e 女性の加齢とともに体外受精による妊娠率は低下する。

4. 乳幼児突然死症候群について正しいのはどれか。

- a 男児よりも女児に多い。
- b 生後 9 ~ 18か月に好発する。
- c うつぶせ寝は予防法の一つである。
- d 親の喫煙はリスクファクターである。
- e 剖検で死亡原因が同定できることが多い。

5. 採血手技について正しいのはどれか。

- a 血管の穿刺は消毒用アルコールが乾いてから行う。
- b 生化学検査の検体を採取するときは手袋は不要である。
- c 血液培養の検体を採取するときには鼠径部を第一選択とする。
- d 動脈血ガス分析の検体を採取後は穿刺部を 10秒間圧迫する。
- e 血液の流出が少ないときは強い陰圧をかけて検体を採取する。

6. ある研究結果の表を示す。

研究名	治療 A		治療 B		各研究のオッズ比 重み ( 95%信頼区間 )
	発症数	症例数	発症数	症例数	
Okada 2006	12	526	25	524	45.7% ( 0.23, 0.94 )
Stevens 2007	7	132	8	138	13.8% ( 0.32, 2.58 )
Lee 2009	2	68	4	66	7.4% ( 0.08, 2.66 )
M izutani 2010	10	616	18	618	33.0% ( 0.25, 1.20 )
合計	1,342	1,342	1,346	100.0%	0.56 ( 0.36, 0.87 )
イベント数合計	31	55			

この研究方法はどれか。

- a 横断研究
- b コホート研究
- c 症例対照研究
- d ランダム化比較試験 ( RCT )
- e メタ分析 ( メタアナリシス )

7. 糖尿病網膜症のうち増殖糖尿病網膜症のみでみられるのはどれか。3つ選べ。

- a 新生血管
- b 硝子体出血
- c 毛細血管瘤
- d 網膜しみ状出血
- e 牽引性網膜剥離

8. 70歳の男性。歩行障害を主訴に来院した。10年前に右手の振戦が出現し、Parkinson病と診断され、以後内服薬治療を継続している。次第に体の自由が利かなくなった。ここ数年体重の変化はなかった。意識は清明で認知障害はない。眼球運動は正常で仮面様顔貌と構語障害とがあり小声で早口である。四肢では特に右上肢で中等度の筋強剛と静止時振戦とを認める。起立は自力でできるが、姿勢反射障害があり突進現象がみられる。Romberg徴候は陰性で感覚障害はなく、腱反射は正常である。

現時点のリハビリテーションで最も有用なのはどれか。

- a 促進訓練
- b 歩行訓練
- c 装具療法
- d 失語症訓練
- e 関節可動域訓練

9. 36歳の男性。会社の健康診断で初めて異常値を指摘されて来院した。自覚症状はない。既往歴に特記すべきことはない。間食が多く、夜は外食が多い。運動は特にしていない。喫煙歴はない。飲酒は機会飲酒。父親が高血圧症、脂質異常症および糖尿病のため治療中である。身長 170cm、体重 81kg、腹囲 96cm、脈拍 80分、整。血圧 138/82mmHg。肥満以外に身体診察で異常を認めない。尿所見 蛋白 ( - )、糖 ( - )、潜血 ( - )。血液生化学所見 空腹時血糖 103mg/dl、HbA1c ( NGSP ) 6.3% ( 基準 4.6 ~ 6.2 )、尿素窒素 12mg/dl、クレアチニン 0.7mg/dl、トリグリセリド 183mg/dl、HDLコレステロール 35mg/dl、LDLコレステロール 152mg/dl、AST 32IU/l、ALT 30IU/l、GTP 46IU/l ( 基準 8 ~ 50 )。

まず行う対応として適切なのはどれか。

- a 食事・運動の指導
- b スルホニル尿素薬の投与
- c フィブラート系薬の投与
- d HMG-CoA還元酵素阻害薬の投与
- e アンジオテンシン 受容体拮抗薬の投与

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月 ～

平成 25年 4月 1日 ～ 平成 25年 4月 28日( 第 14週 ～ 17週 )

### 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
  - 2 類 結核 25例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 16例、疑似症患者が 2 例、無症状病原体保有者が 7 例で、患者は肺結核が 1例、その他の結核(結核性腹膜炎、結核性リンパ節炎等)が 5 例であった【表 1】。男性 12例・女性 13例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。
  - 3 類 腸管出血性大腸菌感染症 2 例が宮崎市保健所から報告された。
    - ・ 10歳代で無症状病原体保有者、原因菌の O 血清型は O 1(VT 2産生)
    - ・ 20歳代で無症状病原体保有者、原因菌の O 血清型は O 9(VT 産生)
  - 4 類
    - 日本紅斑熱：宮崎市保健所から 1 例報告された。患者は 50歳代で、発熱、発しん、肝機能異常がみられた。
    - レジオネラ症：3 例報告された。都城( 2 例 )、高鍋( 1 例 )保健所からの報告で、全て肺炎型。患者は 60歳代が 1 例、80歳代が 2 例で、主な症状は発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎がみられた。
  - 5 類：
    - アメーバ赤痢：宮崎市保健所から 1 例報告された。患者は 40歳代で腸管アメーバ症。主な症状は、肝腫大、大腸粘膜異常がみられた。
    - 急性脳炎：日南保健所から 1 例報告された。患者は 1 歳で発熱、痙攣、意識障害がみられた。原因病原体は水痘帯状疱疹ウイルス。
    - 後天性免疫不全症候群：高千穂保健所から 1 例報告された。患者は 60歳代で AIDS。主な症状として肺炎、呼吸不全、発熱がみられ、指標疾患はニューモシステス肺炎。
    - 侵襲性肺炎球菌感染症* 宮崎市保健所から 1 例報告された。患者は 50歳代で発熱がみられた。
    - 破傷風 高鍋保健所から 1 例報告された。患者は 60歳代で筋肉のこわばり、開口障害がみられた。
    - 風しん：5 例報告された。宮崎市( 4 例 )、都城( 1 例 )保健所からの報告で、年齢別報告数を【表 3】に示す。検査診断例が 3 例、臨床診断例が 2 例で、全て男性であった。発しん、発熱、リンパ節腫脹、関節痛・関節炎などがみられた。ワクチン接種歴はなしが 3 例、不明が 1 例、接種 2 回ありが 1 例であった。
- * 侵襲性肺炎球菌感染症 4月 1日から 5 類全数把握対象疾患に追加。

### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 4, 125人( 定点あたり 104. 9)で、前月比 69%と減少した。また、例年と比べると 69%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱と RS ウイルス感染症であった。

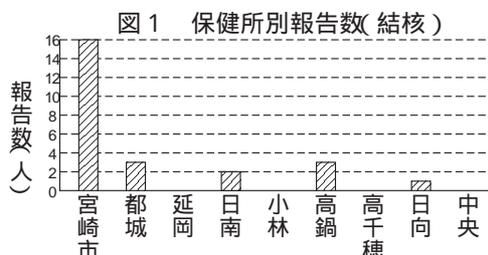


表 1 結核の病型及び報告数( 人 )

肺結核	11
その他の結核	5
無症状病原体保有者	7
疑似症患者	2

表 2 結核の年齢別報告数( 人 )

30歳代	40歳代	50歳代	70歳代	80歳代	90歳代
2	1	5	8	7	2

表 3 風しんの年齢別報告数( 人 )

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
1	1	2	1

### 前月との比較

	2013年 4月		2013年 3月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1,525	25.8	3,199	54.2	
RSウイルス感染症	90	2.5	147	4.1	
咽頭結膜熱	159	4.4	127	3.5	
溶レン菌咽頭炎	285	7.9	340	9.4	
感染性胃腸炎	1,471	40.9	1,910	53.1	
水痘	332	9.2	467	13.0	
手足口病	11	0.3	8	0.2	
伝染性紅斑	5	0.1	10	0.3	
突発性発しん	133	3.7	131	3.6	
百日咳	0	0.0	2	0.1	
ヘルパンギーナ	2	0.1	7	0.2	
流行性耳下腺炎	62	1.7	55	1.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	44	7.3	51	8.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	2	0.3	
無菌性髄膜炎	3	0.4	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	2	0.3	4	0.6	
クラミジア肺炎	1	0.1	0	0.0	

例年同時期( 過去 3年の平均 )より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

病原体検出情報(微生物部)

検出病原体		件	臨床症状等
細菌	Salm onella O 4群血清型不明	1	・下痢, 腹痛
	毒素原性大腸菌(O 126 H 12 STh)	1	・EHEC 疑
	Bordetella pertussis(百日咳菌)	1	・百日咳疑, 無熱性けいれん, チアノーゼ, 咳嗽
ウイルス	RSウイルス, ライノウイルス	1	・肺炎, 38.1, 下気道炎
	エコーウイルス 18型	1	・ヘルペス脳炎疑い, ウイルス性髄膜炎疑い, 39.6
	風疹ウイルス	3	・風疹疑い, 38.6, 関節痛, 発疹, 結膜炎, 頭痛 ・風疹疑い, 37.7, 関節痛, リンパ節腫脹, 耳下腺炎 ・風疹疑い, 38.0, 関節痛, 発疹, リンパ節腫脹

咽頭結膜熱の報告数は 159人( 4.4)で前月の約 1.3倍, 例年の約 1.8倍であった。日南( 11.0), 延岡( 9.5)保健所からの報告が多く, 年齢別では 6 か月から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は 90人( 2.5)で前月の約 6 割, 例年の約 1.6倍であった。日向( 10.0)保健所からの報告が多く, 年齢別では 2 歳以下が約 9 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 1,525人( 25.8)で前月の約半数, 例年の約 7 割であった。延岡( 65.9), 小林( 55.8)保健所からの報告が多く, 年齢別では 5 歳以下が 29%, 6 ~ 9 歳が 33%, 10~ 14歳が 21%, 15~ 19歳が 3 %, 20歳代から 50歳代が 12%, 60歳以上が 2 %であった。

月報告対象疾患の発生動向 4月

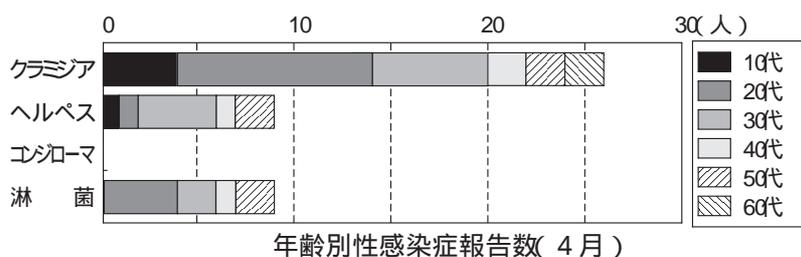
性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

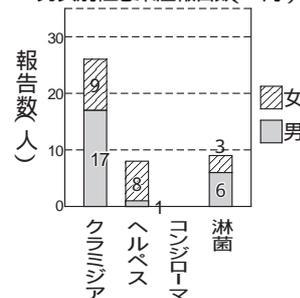
定点医療機関からの報告総数は 44人( 3.4)で, 前月比 133%と増加した。また, 昨年 4月( 2.8)の約 1.2 倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症: 報告数 26人( 2.0)で, 前月の約 1.7倍, 前年の約 1.1倍であった。20歳代が全体の約 4 割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症: 報告数 9人( 0.69)で, 前月及び前年の約 1.8倍であった。30歳代が全体の約 4 割を占めた。
- 尖圭コンジローマ: 報告はなかった。
- 淋菌感染症: 報告数 9人( 0.69)で, 前月の約 8 割, 前年の約 2.3倍であった。20歳代が全体の約 4 割を占めた。



男女別性感染症報告数(4月)



薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

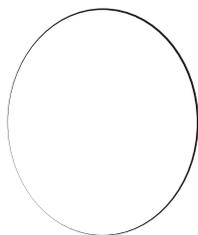
定点医療機関からの報告総数は 31人( 4.4)で前月比 103%と横ばいであった。また, 昨年 4月( 4.6)と同程度であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数 25人( 3.6)で, 前月及び前年の約 9 割であった。70 歳以上が全体の約 6 割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告数 5人( 0.71)で, 前月の約 5 倍, 前年の約 2.5倍であった。70歳代が 4 人, 60歳代が 1 人であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告数 1人( 0.14)で, 前年と同程度であった。70歳以上であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## メディアの目



## IC 乗車カードが使えない

宮崎日日新聞社 報道部長

もり 森 こういちろう 耕一郎

半年ぶりの東京出張で、JR や私鉄、地下鉄の改札口が様変わりしているのに驚いた。切符を差し込む自動改札が隅に追いやられ、乗客のほとんどは IC カードをタッチしながらスムーズに移動する。券売機そのものも少なくなった気がする。

カードを普段使いする機会がまったくない宮崎県民はまず券売機を探し、さらに切符を差し込める自動改札機を見つけなければならない。流れるように進む圧倒的多数を横目に見ながらまごまごし、何とか改札を通り抜ける。

今年 3 月に全国の JR、私鉄が発行する計 10 種類の IC カード乗車券で相互利用が始まり、現金をチャージしたカード一つ持っていれば、都内のどの電車にも切符を買わずに乗れるようになった。

JR 九州の「SUGOCA」、JR 北海道の「Kitaca」などの利用者も全国各地の交通機関で切符を買う必要がなくなった。だから東京のお上りさん全員がカードを使えないというわけではない。相互利用可能なカードが普及していない県民だけが、この全国的な流れに置き去りにされているわけだ。九州 7 県では、宮崎だけがそれに当てはまる。

導入を予定していない JR 九州の言い分は「宮崎は他県に比べて利用客数が少なく、費用対効果が少ないから」ということになる。確かに 1 日の平均乗車客数を見ると、博多駅 10 万 7 千

人、鹿児島中央駅 2 万人などと比べて、県内 76 駅で最も利用客が多い宮崎駅でも 4,600 人。本県で黒字を確保している路線は延岡 宮崎空港間だけだ。

だからといって「はい、そうですか」と引き下がる気にはどうしてもなれない。新幹線を宮崎まで通せとか、日豊線を複線化しろとかまで主張するつもりはない。せめて九州各県と同程度のサービスを平等に受けられるようにしてほしい。上京した県民に悔しい思いをさせてほしくない願っているだけのことだ。

JR 九州が各地で走らせる観光特急の中で、乗車率が約 8 割で SL 人吉に次いで 2 番目に高い海幸山幸も導入前にはやはり、「(宮崎で)採算がとれるのか」という根強い反対論が社内にあった。

県民世論に配慮した経営幹部の鶴の一声で決まり、ふたを開ければ JR 九州としては思いもよらぬ高い乗車率という結果になっているのだ。観光客だけでなく県民もこぞって乗って協力しているからだという。

IC カードにしても、新しもの好きの県民性からして、売り方次第で普及していくはず。だいたい、効率性とか採算性とかを一々持ち出されては、いつまでたっても宮崎には何もできないし、時流に取り残されてしまうばかりである。

## 「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評のようです。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内

締 切：6月29日(土)

投稿項目，タイトル，ご氏名を先頭に付記して下さい。

ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス( genko@m iyazaki.m ed.or.jp )宛お送りください。もちろん，それ以外の方法( FAX ，郵便等 )でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E m ail:genko@m iyazaki.m ed .or .jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「はまゆう随筆」である旨とタイトル，ご氏名を明記の上お送りください。

## 各都市医師会だより

### 児 湯 医 師 会

今年3月頃に、児湯医師会(児湯准看護学校)の庭にある桜の幹に、コゲラ(キツツキ)夫婦がゴルフボール大の穴をあけて巣を作りました。4月後半になると、巣の中からヒナと思われる鳴き声が聞けて、いつ巣立ちを迎えるか楽しみにしているところです。

児湯医師会も今年から社団法人から一般社団法人となりましたが、それに伴い准看護学校は赤字を抱えながらも、これから頑張って存続していかなくてはならないと思っています。しかし、定員20名の小世帯の学校にもかかわらず、毎年残念ながら数名の退学者が出ています。高校新卒で推薦入学者の学生の退学が多いように思われます。社会人を経験して看護師になりたいと思って入学した学生とのモチベーションの相違ではないかと思っています。

学生達もコゲラも無事この場所から巣立ってくれることを祈っています。(蟻塚 高生)

◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇

### 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

「市民のために」との思いで運営されてきた医師会病院は崩壊し、その後の医療センターも今や瀕死の状態にある。医師会病院の清算の過程で西都市と医師会の間には溝が生じ、もはやそれは決定的なものとなった。信頼は地に堕ち、再び築き上げられるまでには長い年月を要するであろう。「市民のために」との思いは行政側も医師会も同じはずなのだが...。(黒木 重晶)

◇ ◇ ◇ ◇

### 南 那 珂 医 師 会

東九州自動車道の工事区間が続々開通していますが、南那珂管内に眼を向けると、平成28年度以降に清武～日南が開通、志布志も国分まで全線開通します。日南～串間～志布志は未だ基本計画区間のままで、この区間が大きく遅れて

います。高速道路は、特に地方に於いて、医療環境への貢献が大きいので、早期の開通が望まれます。(新名 洋美)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 諸 医 師 会

ドクターヘリの運行が開始され一年が過ぎ、救急医療も様変わりしました。これまで救うことの難しかった患者さんを助けられるようになっていきます。一次救命処置の普及や二次救急処置の向上のための講習会の開催、さらには逆搬送患者さんのコーディネートなど今後も医師会として積極的にかかわっていきたいと考えています。(丸山 賢幸)

◇ ◇ ◇ ◇

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市自殺対策推進協議会に出席しました。自殺の危機要因の発生から亡くなるまでは平均5年だそうです。亡くなる前に、70%の人が行政や医療等の専門機関に相談していました。うつ病は自殺の一手手前の要因であると同時に、他の様々な要因によって引き起こされた結果でもあります。昨年度の本会主催の産業医研修会ではうつ病対策について話していただきました。今後も関係機関と連携をとり協力推進したいと考えます。

(原田 雄一)

◇ ◇ ◇ ◇

## 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

現在、都城の医師会病院など三施設の新築移転のための再入札、契約に向けて執行部はじめ医療ゾーン委員会、事務局で鋭意努力中です。1回目の入札が残念ながら不落となってしまったため、今度こそはうまくいってほしいものです。

また、都城の医師会病院では電子カルテを導入しましたが、それに付随する機能の運用も未だにスムーズに行われていません。

どちらも長い時間をかけ、会議を重ね皆で知恵を出し、周到に準備をしてきただけに残念です。

あらためて先輩諸先生方が今の医師会病院などを造られた当時のご苦労に思いが到ります。まだ新築移転もできていないのに笑われるかもしれませんが、この教訓を次に伝えていくことも大切だと感じています。

(木村 健)

◇ ◇ ◇ ◇

## 延 岡 市 医 師 会

小泉改革の恩恵とは...?

教授の「鶴の一声」で、どこにでも行かされるという医局の力を抑えるために臨床研修医制度は始まった。研修医は都会の大病院に就職し、大学医局者は激減。出張病院からの引き上げが相次ぎました。研修医はやがて、結婚し子どもが生まれ...

「延岡に帰ろうかな...?」そんな思いを口にすると、奥様から

「子どもの学校は?三越も大丸もないのに、どこで買い物すればいいの?」

故郷には帰れません。小泉改革で地域医療は恩恵を受けたでしょうか? (赤須 郁太郎)

◇ ◇ ◇ ◇

## 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

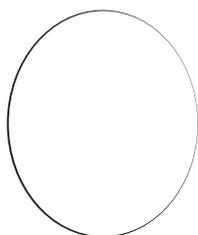
一般社団法人に移行して1年が経過し、監査執行の時期を迎えている。昨年11月に当医師会の法制委員会において、法令遵守を基本とした監査執行方法について検討をしてもらった。法人法第99条及び102条で業務監査も行う必要があるため、事業の執行状況を明らかにするための監査調書を作成することになった。また会計監査は、担当者に監査のための確認リストを作成させ、監査執行前に事務局長がヒアリングを行い、代表理事(会長)が確認した後、監事に監査執行1週間前までに提出することになった。平成24年度監査調書・確認リストは70ページとなった。移行後はじめての監査であるため、不備なところがあれば見直しも考えている。

(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

## 宮崎大学医学部だより

### 感覚運動医学講座 - 整形外科学分野 -



ちようさ えつお  
帖佐 悦男 教授

平成 16年 5月に宮崎大学医学部整形外科教室第 3代教授に帖佐悦男教授が就任し早 10年目に入りました。帖佐教授は現在、臨床、教育、研究に精力的な活動をされております。私たちは

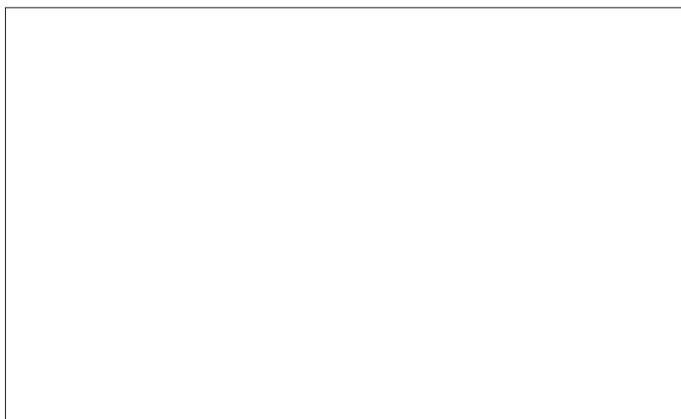
帖佐教授の下、地域に根差した医療を目指して、臨床、教育、研究を充実させ、その成果を世界に発信できるようにしたいと考え、日々研鑽に励んでおります。

現在の宮崎大学医学部整形外科の同門会員は 205名、教室員は学内が 25名、大学院生 3名、県内外の関連病院出向 7名の計 100名ですが、最近他は他の外科系講座と同じように新入医局員の減少に頭を悩ませております。しかしながら高齢化が進むにつれて整形外科疾患を持たれた患者さんは増加しており、関連病院やそれ以外からの患者紹介、新規の整形外科医師派遣依頼が増えてきております。

当科外来は火、水、金曜日の午前中に行っており、下肢、脊椎、スポーツ、上肢の 4つのグループに分かれ診療しております。1日外来患者数も院内トップクラスを維持しており、これも関連病院をはじめとした諸先生方の協力のおかげであり深く感謝しております。具体的には、変形性関節症などに対する関節温存手術や人工関節置換術などを行う関節外科、顕微鏡を導入した脊椎外科、靭帯再建や選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建を中心とした手の外科などの臨床を行い、手術

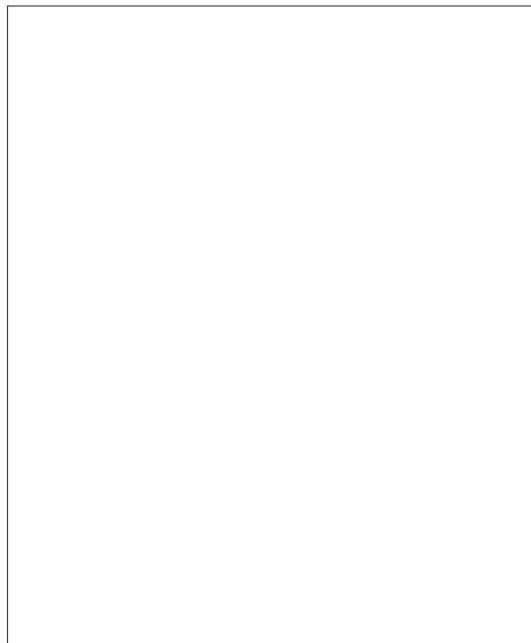
件数は約 1,200件/年(同規模病院で最多)です。さらに最新の治療法を開発し、実際の臨床に応用して有効な成果を挙げ、私たちは特定機能病院として、高度先進医療の提供を求められており、治療に難渋する症例、合併症をもった患者、全身管理を必要とする重症患者が増えてきており、関連病院の先生方と連携を取りながら治療を行っております。また、平成 24年度から救命救急センター&ヘリコプターが本格稼働し当科からも 5人のスタッフをセンターに出している関係もあり多発外傷、骨盤骨折の数がかなり増えてきており、それらに対する手術数は全国でもトップクラスです。今後も宮崎県の中核病院として救急医療を含めた地域医療に貢献できるように全力を傾ける所存です。研究面におきましては、文科省特別教育研究経費(連携融合事業)によるスポーツ外傷、障害の病態解明 - スポーツメディカルサポートシステムの構築 - を中心にあらゆる臨床研究、バイオメカニクス、骨・軟骨再生、疾患遺伝子解析など精力的に行っています。

地域社会の連携といたしましては、帖佐教授を中心とした各種講演会や健康教室への参加をはじめとして、2007年より小中学生を中心とした学童期の運動器検診を行い、同時に運動器の重要性の啓発活動を行っております。特にロコモティブシンドロームに対しては学童期運動器

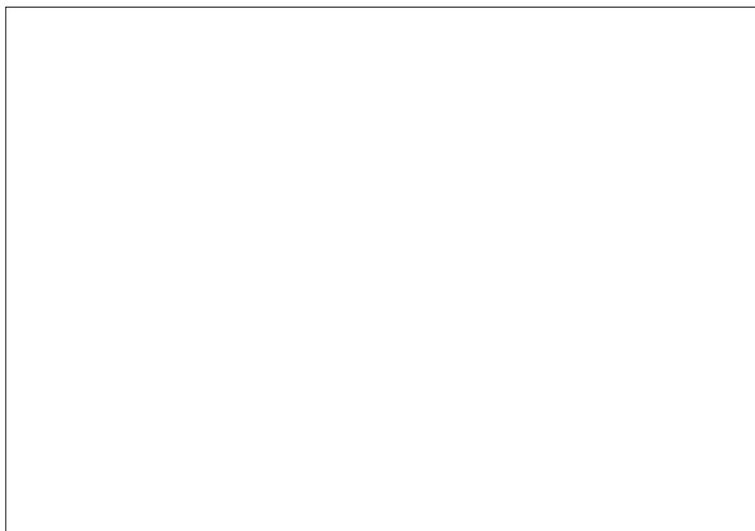


検診(子どもからのロコモ予防), 総合型地域スポーツクラブでの検診・教室やロコモコールなど全国に先駆けた取組みを実施し, 予防・啓発に努めております。また, 毎月第三水曜日に開催しております三水会(症例検討オープンカンファレンス)も 214 回を迎えました。今後もこの症例検討会は続けてまいりますので, ご開業の先生にも多数参加していただき, 症例の検討や情報の交換などに少しでも役立てていただきたいと存じます。またスポーツに関しましては, 実業団および国体選手などのトップアスリートから中高生スポーツ選手のメディカルチェックを定期的に行っており, 現在サッカーやラグビーのナショナルチームにチームドクターも派遣しております。

今後の宮崎大学整形外科教室の進むべき道としては, 関連病院と連携を深め地域医療に貢献し, 患者さんの必要としている医療を提供できるような高度な医療水準をもつこと, それを實踐できる人格と能力を持つ医師を育成すること

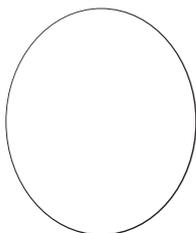


が使命と考えております。私たちは多くの先生方の入局を心から望んでおります。私たちは帖佐教授の下, 全員で最新, 最良の医療を提供できるよう努力していきますので, 今後ともよろしくお願ひ申し上げます。(医局長 さかもと たけろう 坂本 武郎)



平成 25 年 5 月京都で開催された第 86 回日本整形外科学会学術総会における全国親善野球大会にて, 当教室は 3 回目の優勝を飾りました。教室員同士の見事なチームワークの賜物です。

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 精 神 科 医 会 )



よしだ けんせい  
吉田 建世 会長

宮崎県精神科医会のご紹介を致します。現在会員数は、A会員3名、B会員108名、C会員2名の合計168名です。1984年「精神科臨床研究会」から県医師会の分科医会に移行した経緯上、C会員には大学や行政関係の医師も含まれます。役員は、4ブロックからの選出と大学、県立病院、宮崎県精神保健福祉センターよりの合計12名の理事で構成されており、現在会長が吉田建世、副会長が谷口浩先生、監事に後藤勇先生と細見潤先生、顧問に宮崎大学の石田康先生での体制で運営しております。

年間の事業は、年1回(6月)の総会開催と、6月と12月に「精神科医会懇話会」を開催し、研究発表が4~5題と、社会保険指導説明と、大学教授等をお願いをしての特別講演を行っており、県内精神科医の勉強の場となっております。ちなみに今年度は、6月1日に広島大学精神科の山脇成人教授による講演を、12月1日に国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター所長で元慶応大学教授の大野裕先生による認知行動療法の研修会を予定しております。また、年に1回の機関誌「会誌」を発行しており、これまでに2号を数えます。それに加え、県事業の「こどもの健康を守る地域専門家等連携事業」で毎年10~20か所の小中高校での講演を行い、宮日「きゅんと」の原稿が年2回ほどあります。また、精神科医療に関する学術講演会、研究会の共催等も行っております。

特に今年度においては、精神科医療にとって重大な変化が2つあります。

まずは、ご存知のように平成25年度より地域医療計画が見直され、5疾病5事業として、新たに精神疾患が加えられました。特にうつ病と認知症が重点項目として掲げられており、現代社会の中での精神科医療の重要性が認識されたものと理解されます。なかでもかかりつけ医と精神科医の連携の推進が謳われており、なかなか難しい問題ではありますが、当医会としましても検討・協力していきたいと存じます。

2つ目は、本年度の精神保健福祉法の改定の問題です。これまで「保護者」の義務として、精神障がい者に適切な治療を受けさせるなどの義務項目がありますが、先の民主党政権時代に閣議決定で、その保護者制度の撤廃が決まり、例えば入院の必要な患者さんの保護者同意による入院の形態などが変わることになりました。一時期、代わりに、家族以外の「代弁者」等も候補に上がりましたが、今年4月に現安倍内閣で、保護者の義務はなくなり、家族が行うことが決定されました。今後詳しい内容が煮詰められていくことと思いますが、精神科医として、その変化に早めの対応が求められるところです。

宮崎県において、宮崎大学への研修医が少ない中、精神科医師の増加も期待できない現状ではありますが、私ども宮崎県精神科医会としましても、今後も県民の心の健康の改善のために努めていくつもりでございますので、県医師会の先生方には、引き続きご理解ご協力のほどお願い申し上げます。(吉田 建世)

## 九州医師会連合会第 332回常任委員会

と き 平成 25年 4月 13日(土)

ところ 万国津梁館(沖縄県名護市)

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

宮崎県医師会稲倉会長

(前九州医師会連合会長)

沖縄県医師会宮城会長(開催県)

### 3. 協議

- 1) 九州医師会連合会長・同副会長の互選について(沖縄)

会長に沖縄県宮城会長を、副会長に大分県近藤会長を選出した。

- 2) 九州医師会連合会監事の選定について(沖縄)

鹿児島県、熊本県から推薦をいただき  
5月25日に決定することとした。

- 3) 第333回常任委員会並びに第105回定例委員総会の開催について(沖縄)

下記の通り開催することが決定した。

日時 平成 25年 5月 25日(土)

常任委員会 16 30~ 17 20

定例委員総会 17 30~ 18 30

場所 ANAクラウンプラザホテル沖縄  
ハーバービュー

- 4) 第334回常任委員会及び九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について(沖縄)

下記の通り開催することが決定した。

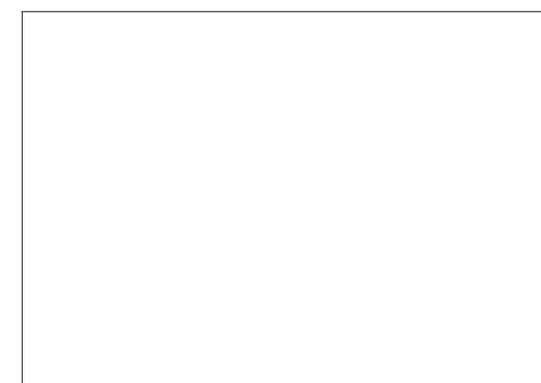
日時 平成 25年 6月 7日(金)

常任委員会 16 00~ 16 50

主管部長・医師会長合同会議

17 00~ 18 30

場所 城山観光ホテル(鹿児島市)



- 5) 県境における医療体制(救急医療を含む)について(鹿児島)

鹿児島県池田会長より、県境の医療問題について隣接する県医師会と県行政間での協議の場を設置することが急務と考えるが各県医師会のお考えを伺いたいと説明があった。各県の現状について報告があり、6月7日の行政との合同会議の議案として提案することとされた。

### 4. 報告

- 1) 平成 25年度九州医師会連合会行事予定について(沖縄)

沖縄県宮城会長から報告があった。

- 2) 九州医師会連合会からの弔意について(沖縄)

宮崎県医師会顧問(元宮崎県医師会長)黒水啓一先生のご逝去に際し、弔意を表した旨の報告があった。

出席者 稲倉会長、大重事務局長

## 平成 24年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会

と き 平成 25年 3月 14日(木)

ところ 日本医師会館

日医小森常任理事の司会進行で開会，日医横倉会長の挨拶(日医中川副会長代読)後に，議事が進行された。

### 1. 生涯教育関連事項報告

#### 日医小森常任理事

平成 23年度生涯教育制度集計結果として，単位取得者総数が 112,289人，日医会員単位取得者率が 61.4%，平均取得単位は 16.2単位，平均取得カリキュラムコード数が 15.4カリキュラムコード，取得単位+カリキュラムコード合計平均は 31.6であった。取得単位が 0.5単位以上の方に対して，平成 24年 10月 1日付で平成 23年度日医生涯教育制度「学習単位取得証」を発行したとの報告が行われた。単位の取得方法としては，講習会等での単位取得が 80.4%を占め，体験学習の取得が 14.4%であった。日医 e-ラーニングの活用者数は，平成 22年度が前年度 7,816人から 31,665人と急激に伸びたが，平成 23年度は 20,201人に減少した結果であった。カリキュラムコード別の取得者数が多かったものは，「継続的な学習」と「臨床能力の保持」・「地域医療」・「専門職としての使命感」であった。逆に，「嘔声」・「褥瘡」・「誤飲」の取得率が低かった。

日医では，生涯教育制度運営委員会を設置し，審議する内容は生涯教育単位・カリキュラムコード付与に係る事項であり，生涯教育単位取得証の交付および日医生涯教育認定証の交付，生涯教育制度の運営に係る事項としている。都道府県医師会からの制度に関する



依頼については，これまで都道府県医師会担当理事から日医担当理事宛に文書にて受理していたが，今後は，都道府県医師会会長から生涯教育制度運営委員会会長宛の依頼文書をもって審議することになるので，ご協力をお願いしたい。生涯教育講座の実施報告は，都道府県医師会が主催または共催した日医生涯教育講座に限り，郡市区医師会の主催・共催および後援等の講習会の報告は不要なので申し添える。

指導医のためのワークショップは，平成 21年 4月より，研修医 5人に対して，指導医 1人が必置となっていることから，都道府県医師会にも積極的に開催していただくよう依頼しており，本年度は，14都道府県医師会で開催していただいた。日医も本年度は 2回開催している。これまでのワークショップ受講修了者は，合計で 4,942名となった。

日医生涯教育協力講座セミナーは，「地域医療と予防接種～ワクチンがもたらす恩恵」，「てんかん診断から最新の治療まで」，「心房細動

と脳梗塞」の実施を共催メーカーの協力のもと都道府県医師会へ開催を依頼している。今後は、「家庭血圧の重要性～仮面高血圧の診療の実際」、「糖尿病患者さんの食習慣を考慮に入れた薬物治療」の開催が予定されている。

日医生涯教育 on-lineでは、e-ラーニングの教材を提供しており、カリキュラムや日医雑誌もPDF形式で全文を掲載している。ビデオライブラリーやセミナー開催状況も情報提供しているので周知をお願いしたい。インターネット生涯教育講座は、共催会社の協力を得てコンテンツを製作しており、日医生涯教育推進委員会、学術企画委員会により企画し承認している。

## 2. 生涯教育推進委員会報告

日医倉本生涯教育推進委員会委員長

本委員会では、日医生涯教育協力講座セミナーおよび各プログラムの承認、会長諮問事項「日医生涯教育制度と専門医制度について」に対する検討を行った。セミナーに関しては、座学にならないよう、地域の先生方に演者を務めていただき、講演とパネルディスカッションがプログラム構成となるよう職種横断・協働の内容でセミナーを開催していただきたいと考える。かかりつけの医師とは、何でも相談ができるうえ、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介出来る、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師としている。すなわち、国民皆保険制度のもとのフリーアクセスにおいて、既に患者から選ばれ、地域医療を担っている医師は、かかりつけ医であり、総合医として考える。また、総合診療医とは、内科、外科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、産婦人科など、広い領域にわたって行う診療について、医療的機能の面のみ評価された医師であると位置づけ

る。専門医、総合診療医、かかりつけ医に関する考え方は、私見としては、日医執行部が代わったり、委員会のメンバーが代わることで方針に変更が生じるものではない。日医生涯教育制度を他の専門医団体からも認めていただくようになるのが望ましい。今後、総合診療医を目指す人であっても、基本領域の専門医に留まる人であっても、自身が地域医療に根ざす人であればどなたでもかかりつけ医としての定義があてはまるべきと考える。

日医生涯教育制度カリキュラム 2009が出来上がって3年を経過した。先生方からは、少しカリキュラムコードに偏りがあるのではないかとご意見を多数いただいている。他の専門医団体から基本領域専門医としての修練として日医生涯教育カリキュラムを利用させていただくことを考えた場合、現状では難しい。平成 27年度以降卒業する医師は、新しい専門医制度の中で専門医になっていくことになる。将来、日医会員となるべくこの若い医師達に対して我々は責任をもって日医生涯制度カリキュラムを発展させていかななくてはならないと考える。

## 3. 専門医の在り方に関する検討会について

田原厚生労働省医政局医事課長

今日まで医師の専門性に係る評価・認定については、各領域の学会が自律的に独自の方針で専門医制度を設け運用してきた。しかし、専門医として有すべき能力について医師と患者との間に捉え方のギャップがあるなど現在の専門医制度は患者にとってわかりやすい仕組みにはなっていないと考える。また、医師の地域偏在・診療科偏在は近年の医療をめぐる重要な課題であり、専門医の在り方を検討する際にも偏在の視点への配慮が欠かせない。よって、医師の質の一層の向上および医師の偏在是正を図ることを目的として、厚労省と

して、専門医の在り方に関する検討会を開催することになった。新たな専門医の仕組みについては、専門医の質を高め、良質な医療が提供されることを目的として構築すべきである。仕組みを通じて専門医を含めた医師の偏在が是正される効果が期待できる。専門医とは、それぞれの診療領域における適切な教育を受けて十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を出来る医師とすることが適当である。現在の学会主導の専門医制度は患者の受診行動に必ずしも有用な制度になっていないため、質が担保された専門医を学会から独立した中立的な第三者機関で認定すべきである。また、新たな専門医の仕組みは、プロフェッショナルオートノミーを基盤として設計されるべきである。広告が可能な医師の専門性に関する資格等については、新たな専門医の仕組みの構築に併せて見直すことが必要である。

専門医の広告に関しては、患者の適切な選択に資する観点から、今後第三者機関において、専門医の認定基準やサブスペシャリティ領域の範囲を明確にした上で第三者機関が認定する専門医を広告可能とするべきである。専門医は、その領域の診療を担う社会的責任という面もあることから、専門医のキャリアや認定基準、更新基準など専門医に関する情報を国民に分かりやすく示すなどの仕組みが必要である。また、第三者機関において、専門医の質や分布等を把握するため、専門医および専攻医に関する情報の収集・管理等を円滑に行うことが重要であり、データベースの構築が必要である。

専門医の認定は、第三者機関が学会と密接な連携の下で行うべきであり、速やかに設立すべきである。また、中立的な第三者機関は、医療の質の保証を目的として、プロフェッシ

ナルオートノミーに基づき医師養成の仕組みをコントロールすることを使命として医療を受ける国民の視点に立って専門医制度を運用すべきである。運営としては、専門医の設定と養成プログラムの評価・設定の2つの機能を担うとともに、専門医の認定基準や養成プログラムの基準の作成も統一的行うものとする。専門医の領域としては、基本領域の専門医を取得した上でサブスペシャリティ領域の専門医を取得するような二段階の仕組みを基本とすべきである。専門医の領域は、患者からみて分かりやすいものとする必要があり、個別学会単位でなく、診療領域単位の認定にすべきである。また、基本領域の専門医の一つとして、総合的な診療能力を有する医師を加えるべきである。サブスペシャリティ領域については、日常的に診療現場で十分に確立し得る診療単位であることが適当である。専門医の認定については、経験症例数等の活動実績を基本的な要件とすることが必要であり、専門医資格の更新についても、生涯にわたって標準的な医療を提供するという視点から、専門医としての活動実績を基本的な要件とすべきである。基本領域の複数の認定・更新を受けることについては、原則として複数の認定を念頭に置いた制度設計は行わないとし、自助努力により複数領域の認定基準を満たすのであれば許容する。また、専門医の認定・更新にあたっては、日医生涯教育制度を活用することも考える。

なお、新たな専門医養成は、平成 29 年度を目安に開始する。学会認定専門医の移行措置は、第三者機関において適切な移行基準を作成する。移行については、移行基準を満たす者から順次移行を可能とすることが適当である。移行を開始する時期については、平成 29 年度から移行可能とすべき見方と平成 32 年度

以降とすべきとする見方があり、速やかに検討する必要がある。総合的な診療能力を有する医師の名称は、総合診療医とし、その専門医としての名称は、総合診療専門医とすることが適当である。頻度の高い疾病と傷害、それらの予防、保健・福祉など、健康に関わる幅広い問題について、我が国の医療体制の中で適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供出来る医師とすることが適当である。また、扱う問題の広さと多様性が特徴であり、専門医の一つとして基本領域に加えるべきであり、地域を診る医師としての視点が重要である。総合診療専門医の養成については、臨床研修修了直後の医師が進むコースに加えて、他の領域から総合診療専門医への移行や総合診療専門医から他の領域の専門医への移行を可能とするプログラムについても別に用意する必要がある。総合診療専門医の養成プログラムの基準については、関連学会・日医が協力して第三者機関において作成すべきである。また、開業医等の指導医としての関与が必要であることから、医師会の協力が必要である。総合診療専門医の養成プログラムにおける研修目標の設定や更新基準の作成については、日医生涯教育カリキュラムの活用を考慮しつつ、第三者機関において引き続き検討する。

地域医療の安定的確保については、現在のフリーアクセスを前提としつつ、総合診療専門医や領域別専門医の所在を明らかにして、それぞれのネットワークにより、適切な医療を受けられる体制を構築することが重要である。新たな専門医の仕組みにおいて、プロフェッショナルオートノミーを基盤として、地域の実情に応じて、研修病院群の設定や専門医の養成プログラムの地域への配置の在り方などに工夫が必要である。研修施設については、

大学病院や地域の中核病院などの基幹病院と地域の協力病院等の病院群を構成することが適当である。また、専門医の養成プログラムの中に、一定期間の地域医療に関する研修を取り入れることが必要と考える。専門医の養成数については、患者数や疾病頻度、各養成プログラムにおける研修体制等を踏まえて設定されることを基本として、専門医および専攻医の分布状況等に関するデータベース等を活用しつつ、地域の実情を総合的に勘案する必要がある。専門医の在り方については、今後も進捗状況を見極めつつ、適宜継続的な見直しを行っていくことが必要であると考えられる。

#### 4. 協 議

埼玉県 情報量の多い IC チップおよび磁気カードによる会員証の構築、また IC 化により会員の研修会等の参加履歴が可能となるのではないかと平成 22年度の本協議会に提案し、日医からは、会員証の活用は予算上の問題もあり継続的に検討、また日医 IT 化検討委員会並びに生涯教育推進委員会でも検討するとの回答があった。その後の進捗状況をお聞きしたい。また、日医生涯教育制度における単位数とカリキュラムコード数の合算数の明確な名称をご教示いただきたい。

日医小森常任理事 日医会員証は、現在のところ会員氏名・生年月日・ID 番号・住所・有効期限・発行日のみの情報となっている。また、IT 化検討委員会の答申を受けて、現在、日医認証局が立ち上がった。認証局の、セキュリティを確保した医療 IT 基盤の整備事業の一つとして生涯教育のポイント管理システム提供も位置づけられている。進捗状況を踏まえて今後、IC カードによる生涯教育制度集計管理について検討する。日医生涯教育制度における単位数とカリキュラムコード数の合算数の明確な名称は現在のところない。生涯教育

推進委員会の中で今後議論していただくことでご理解いただきたい。

岡山県 日医生涯教育協力講座セミナーの開催回数を年度 2 回程度を限度にしたらどうか。また、テーマについても多少マイナーな分野を取り上げたらどうか。

日医小森常任理事 都道府県医師会において、毎年日医生涯教育協力講座セミナーの開催にご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。今後も都道府県医師会からのご意見を拝聴しながらセミナーの企画を行いたい。セミナーのテーマについては、効率の良いタイミングで関心の高さを勘案して、疾病の流行等も踏まえながら生涯教育推進委員会ですっきり議論していく。

島根県 第三者機関と日医との間で単位互換等の合意はされているのか。また、新専門医制度下ではどのような取扱いになるのか。

日医小森常任理事 本件については、日医横倉会長の決裁をいただいたうえで、配布しました文書を以って回答させていただく。都道府県医師会におかれましては、この回答の内容を理事会・委員会等でご協議いただき、あらためて日医代議員会等にてご意見やご質問をお受けしたいと考える。新たな第三者機関は日医が中心となって、日本専門医制評価・認定機構、各学会との緊密な連携のうえに設置されることになる。新たな専門医の仕組みは、プロフェッショナルオートノミーを基盤として設計されるべきである。よって、国家管理を排除し、医師によって自律的に運用されることを明確にする。国民に対する説明責任、さらに良質な医療を提供する医療者の責任はますます重くなるものとする。

出席者 - 牛谷常任理事，杉田課長

## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 25年 5月 1日より平成 25年 10月 31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 薬事情報センターだより ( 313)

### 予防接種法の一部改正

本年 3月に予防接種法改正案が可決成立し、施行されました。今回の改正で、厚生労働大臣は、予防接種施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、予防接種基本計画を策定することとされました。また、予防接種を取り巻く状況の変化や施策の効果への評価等を踏まえ、少なくとも 5年に一度検討し必要に応じて計画を変更することとされました。

「一類疾病・二類疾病」という疾病区分の名称が感染症法の 1～5 類感染症と混同しやすいとの医療現場等からの指摘等を踏まえて、「一類疾病」を「A 類疾病」と、「二類疾病」を「B 類疾病」と変更されました。

A 類疾病に、H₁N₁感染症、小児の肺炎球菌感染症及びヒトパピローマウイルス感染症が追加され、乾燥ヘモフィルス b 型ワクチン(製品名 アクトヒブ)、沈降 7 価肺炎球菌結合型ワクチン(製品名 プレベナー水性懸濁皮下注)及び組換え沈降 2 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(製品名:サーバリックス)・組換え沈降 4 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(製品名 ガーダシル水性懸濁筋注・ガーダシル水性懸濁筋注シリンジ)が定期の予防接種の対象となりました。なお、組換え沈降 2 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチンと組換え沈降 4 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性、有効性に関するデータはないことから、同一の者には、同一のワクチンを使用することとされています。これらについては、平成 22 年度後半から国と市町村が費用を負担して「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」が実施され、定期接種ではありませんが接種費用の大部分(自治体によっては全額)が公費で賄われてきました。また、A 類疾病に、人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、又はかかった場合の病状の程度が重篤になり、若しくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病を政令で定めることができるようになって

います。

B 類疾病については、インフルエンザのほか、新たなワクチンの開発や感染症のまん延に柔軟に対応できるよう、個人の発病又はその重症化を防止し、併せてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病を政令で追加できるようになっています。

平成 24 年 5 月に厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会で取りまとめられた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」で医学的・科学的観点から広く接種を促進していくことが望ましいとされた 7 ワクチンのうち、A 類疾病に追加された 3 疾病に係るワクチン以外の水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌及び B 型肝炎の 4 ワクチンについては、平成 25 年 3 月 19 日の衆議院厚生労働委員会において、「安定的なワクチン供給体制や継続的な接種に要する財源を確保した上で、平成 25 年度末までに定期接種化の結論を得るように努めること」という附帯決議が付けられました。

さらに、予防接種施策の適正な実施を図るため、従来、健康局長通知で医療機関に協力依頼されていた副反応報告制度が法律上明記され、病院若しくは診療所の開設者又は医師は、定期の予防接種又は臨時の予防接種を受けた者が、厚生労働大臣が定める症状を呈していることを知ったときは、厚生労働大臣に報告することが義務付けられました。この報告は薬事法第 7 条の 4 の 2 第 2 項に規程する報告として取り扱われます。

### 参考資料

「予防接種法の一部を改正する法律の施行等について」

(平成 25 年 3 月 30 日健発 0330 第 1 号)

2013 年 4 月から予防接種はこう変わる。

日本医事新報 No. 4640, 68-71. 2013

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 日医インターネットニュースから

### 8%時の補填「財源は消費税増収分」 医療と税制PTで日医

自民党の「医療と税制に関するPT」(野田毅座長)は4月2日、日本医師会から税制に関する課題について聞き取った。日医の今村聡副会長は、医療の消費税問題の抜本解決を求める全国的な動きや社会保険診療に対する消費税非課税措置の問題点などを紹介しながら、消費税率を8%、10%にそれぞれ引き上げた際の要望を説明した。8%時の対応については、消費増税による財源で賄うよう求めた。

今村副会長は医療の消費税問題に関して、抜本的な解決を求める意見書が全国20の道県議会で採択されていることや、同様の決議が国民医療推進協議会や都道府県医療推進協議会で33件に上っていることなどを紹介した。

消費税非課税制度の問題点については、患者・国民の視点から患者や国民、保険者にも一定の消費税負担が目に見えない形で生じている税の補填に保険料を使うことは不合理と指摘。医療機関の視点からは消費税分のマクロ的な補填不足、医療機関による仕入れ構成の違いに対応できていない診療報酬本体部分について、一部の項目だけに消費税分が上乗せされている。薬価は理論的には補填されているが、実際の仕入価格の格差による不公平が生じているを挙げ、患者・医療機関の双方の視点で説明した。

消費税率8%引き上げ時の対応について、医療保険制度の中での手当は消費税負担の検証結果に基づき、患者・国民・保険者の負担を増やさないように、通常の診療報酬改定とは別立てた消費税増収による財源で行い、従前(特定の項目に偏った上乗せ)とは異なる適切な上乗せ方法による改善を図ることを要望。10%時は患者負担・国民負担・保険者負担を増やさず、仕入税額控除が可能となるゼロ税率などによる課税制度の実現を要望した。その際は食料品などの軽減税率と分けて検討すべきとした。

(平成25年5月3日)

### 小児死亡の全症例でA i 死因究明検討会で今村副会長

診療関連死以外の死因究明について議論する内閣府の「死因究明等推進会議」の下に設置された実務者会議「死因究明等推進計画検討会」の会合が4月26日開かれ、専門委員である日本医師会の今村聡副会長が、全ての小児死亡症例を対象に死亡時画像診断(A i)を実施する体制の整備を提言した。A iを実施することで児童虐待の見逃しや虐待そのものを抑止し、小児固有の疾病の研究にも役立てることが目的。他の委員から

も「そのような体制ができることが望ましい」との意見で議論は一致した。次回以降、推進会議に提出する中間報告の取りまとめに入る。

今村副会長は、現在全国で1年間に約5,000人の小児死亡症例(0~1歳)があり、A iの実施には1体当たり5万円として年間約2億5,000万円の経費がかかると試算。1体当たり約25万円かかる解剖経費と比較してもはるかに少額での対応が可能とした。

また体制構築のために、全国10カ所にある既存のA iセンターを活用しつつ、未整備の四国・沖縄にも設置、日医などによる人材育成、画像データを大量で送受信できるインターネット環境や蓄積できるデータベースの整備などが必要と指摘した。

(平成25年5月3日)

### 「日本型かかりつけ医」、論点化に期待 鈴木常任理事

鈴木邦彦常任理事(中医協診療側委員)は5月8日、メディファクスの取材に応じ、次期診療報酬改定に関する外来医療の論点として「かかりつけ医機能の評価」が取り上げられる方向となっていることに触れ、「日本型のかかりつけ医機能がうまい形で評価されるようにしてほしい」と期待を込めた。

かかりつけ医機能をめぐっては、日医の横倉義武会長が診療報酬上の手当ての必要性に言及しているほか、厚生労働省保険局医療課の宇都宮啓課長もメディファクスの取材で、次期改定の論点の一つになり得るとの認識を示している。

鈴木常任理事は「われわれは従来から、かかりつけ医機能の評価を訴え続けてきた」と述べ、今後の中医協で議論が進められる可能性が高まっていることを評価。一人の医師が幅広い分野を診療でき、専門外であれば適切な他の専門に紹介できる機能を持つことが日本型のかかりつけ医であると、英国式のG P(G eneral Practitioner = 家庭医)制度をはじめとした他国の制度はそのまま国内で運用できないと強調。「複数の疾患があれば、複数のかかりつけ医がいるのが日本型。それをうまく評価してもらえようをお願いしたい」と述べた。

### 薬局チェーンは「自覚と自制を」

鈴木常任理事は医薬分業に関する現状にも触れ、院外調剤による患者への負担が院内調剤より重いことを問題視し「患者のメリットや医療費の抑制につながっているのかを検証してもらいたい」と要請した。

院外の場合、後発医薬品を使用しても患者のメリットは小さいと指摘。一方、院内は高齢患者らの利便性などで大きな役割があるとして

「院外と院内の格差を是正すべきだ。院内でも院外と同一の評価が得られるようにしてほしい」と訴え、患者が選択できる体制の整備を求めた。

また、大手調剤薬局チェーンなどが過度に営利化を進めていると主張。「調剤も医療の一環。非営利原則の中で、営利化を歯止めなく進めるのはよいことなのか」「医療保険を扱っている以上は自覚と自制が必要ではないか」と問題提起した。

お薬手帳の活用などによって、院外薬局では重複投与を防止できる効果があるとの見方に対しては「薬の管理はかかりつけ医が担えばよいのではないか。かかりつけ医の評価に加えてほしい」と述べた。(平成 25年 5月 10日)

### 診療所等の偏在解消に向け意欲

横倉会長

横倉義武会長は5月18日、日本プライマリ・ケア連合学会が仙台市内で開いた学術大会で講演し、診療所の「駅前集中」など医療機関の偏在解消に向けて行政や地域住民らとの協議を進める考えを示した。

横倉会長は「いわゆる駅前に診療所がたくさんできるとか、同じ市内でも外れの方には全く医療機関がないところもある」と述べ、以前から医療機関の地域偏在について調整を試みようとしてきたが、公正取引委員会から独占禁止法上の指針が出されたことから、現在、十分な調整ができない状況と説明。「これをいろんな形で、行政や地域住民の方々とよく話し合いながら適切な医療機関の在り方ということについて協議していかなければならない」と述べた。

### 在宅医療の研修カリキュラム作成へ

横倉会長は、在宅医療に関する研修カリキュラムを作成し、在宅医療の普及に取り組む計画も明らかにした。横倉会長は「在宅医療に必要なカリキュラムを作っている」と述べた上で、「まず7月に4都道府県の指導者の先生方に集ってもらい、研修してもらおう」と説明。その後、郡市区医師会の指導者らにも研修を広げていく予定であるとし「在宅医療の広がりをつくっていく

うと計画している」と述べた。

かかりつけ医に健康相談できる体制を

横倉会長は「国民全てが、かかりつけ医を持つことによって、自分のさまざまな健康についての相談ができる体制をつくり上げる」との考えも示した。「必要な医療を提供できる状況をつくっていく。切れ目のない医療・介護を提供できる体制をつくっていくことが私どもの一つの大きな目標」とも述べた。

新専門医制度の創設に向け、医療界で話題になっている総合的な診療能力を持つ医師の養成については、「全ての医師が持つべき要件だと思っている。現在、地域医療を支えている開業医師はこの機能を担っている。内視鏡の専門医や循環器専門でありながら、かかりつけ医を担っている方がたくさんいらっしゃる」と述べた上で、「自分の持つ専門能力を發揮するためにも、総合的な診療能力を持つことが住民のニーズに応えることにつながると思う」と強調した。

(平成 25年 5月 24日)

### 家族承諾が本人意思を大きく上回る

臓器提供報告書

厚生労働省の「脳死下での臓器提供事例に係る検証会議」は5月24日、2014年度に検証した48例の検証結果を追加してまとめた報告書「150例のまとめ」を公表した。10年7月の改正臓器移植法施行で実現した家族承諾による臓器提供事例は56例。一方、施行後の本人意思事例は7例だった。

ドナーは40～50代が77例で半数を占める。また原疾患は、くも膜下出血が60例と最も多く、脳出血・脳梗塞を含む脳血管障害は9例と6割を占めた。

臓器別では、心臓移植で113人のうち106人のレシピエントが生存し、常時働いている人も43人と生存者の4割が社会復帰していた。完全社会復帰は、肺移植で生存者85人のうち45人、肝臓移植で生存者97人のうち57人、腎臓移植では生存者168人のうち129人だった。

(平成 25年 5月 28日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

#### 日医インターネットニュースへのアクセス方法

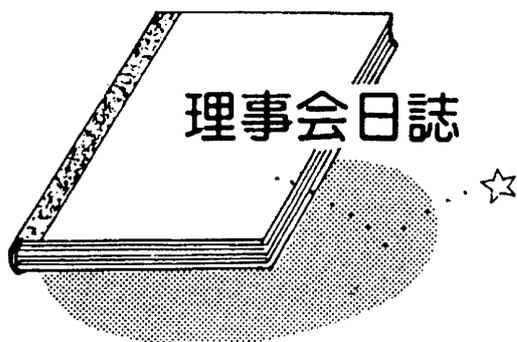
日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

#### メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力  
例) 196年5月1日生まれの場合、610501



平成 25年 4月 16日(火)第 3 回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 審査委員の推薦について(再)

選任基準に沿って、県医師会から河野副会長、矢野理事を推薦することが承認され、役割分担についても追加を行うこととなった。

#### 2. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会委員の推薦について

県民が安心してジェネリック医薬品を使用できる環境整備等について検討するため設置されている委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、古賀常任理事を推薦することが承認された。

新生児聴覚検査・療育ネットワーク構築事業協議会委員の推薦及び就任について

佐藤雄一先生の急逝に伴い欠員となっているもので、県小児科医会に後任の人選を依頼することが承認された。

#### 3. 後援・共催名義等使用許可について

6 /29(土)・6 /30(日)第 32回宮崎県糖尿病宿泊講習会后援願について

糖尿病教育研究やグループディスカッション等を取り入れた宿泊型の講習会で、

例年に引き続き、名義後援を行うことが承認された。

#### 4. 平成 25年度宮崎県学校保健会役員の委嘱並びに理事評議員会の開催について

県学校保健会の会長に稲倉会長が就任することが承認され、理事に富田副会長と高村一志先生、監事に石川常任理事、評議員に吉田常任理事を推薦することが承認された。

#### 5. 宮崎県医師会定例代議員会等の日程について

来る平成 25年 6月 15日(土)に、定例代議員会及び総会等の諸行事を開催することが提案され承認された。なお定例代議員会では、佐藤雄一先生の逝去に伴う理事及び日医代議員選挙、石坂公夫先生の逝去に伴う裁定委員選挙を行うこととなった。

#### 6. 6 /23(日医)第 129回日本医師会定例代議員会の開催について

日本医師会が公益社団法人に認可され、初めて開催される代議員会で、河野・富田副会長、立元常任理事の出席が承認された。なお欠員となっている 1名の代議員については、6 /15に開催される宮崎県医師会定例代議員会で選出される予定である。

#### 7. 災害時における医療救護に関する協定について

平成 19年 3月の協定をもとに、緊急派遣の場合の事後承認や負傷した場合の傷害保険の加入等の見直しを行った協定の提案が宮崎県から行われたが、JMA 等、大規模災害時に想定される県外派遣時の経費負担について、明文化されていないことから、再度、県に要請した上で、協定を結ぶことが承認された。

#### 8. 宮崎県寝たきり予防対策支援センター業務の委託契約について

広域支援センター会議，研修会，資源調査の3つの事業を中心に実施される委託契約で，引き続き契約を締結することが承認された。

9. 7 /7 (日) サンビーチーツ葉 第 15回宮崎シーガイアトライアスロン大会 2013への協力をお願いについて

昨年よりオリンピックディスタンス(スイム 1.5km, バイク 40km, ラン 10km, 計 51.5km)を採用し，宮崎臨海公園及び周辺施設を中心に開催されている大会で，協力をを行うことが承認された。

10. 6 /7 (金) 日医 第 4 回日本糖尿病対策推進協議会総会の開催について

糖尿病の発症予防，合併症防止等の糖尿病対策をより一層推進し国民の健康の増進と福祉の向上を図ることを目的として開催される会議で，金丸常任理事が出席することが承認された。

11. その他

日州医事に対する小説の投稿について  
小説の投稿に対する取扱いについて，現時点では内容を問わず掲載を行わないことを確認した。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4 /10 (火) 支払基金 支払基金幹事会について
3. 4 /13 (土) 沖縄 九医連常任委員会について
4. 4 /11 (木) 日医 日医公衆衛生委員会について
5. 4 /11 (木) 宮大 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について
6. 4 /13 (土) 東京 男女共同参画公開シンポジウムについて
7. 4 /12 (金) 県医 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 4 /24 (火) 東京 第 15回武見セミナー「新たな挑戦参議院東京選挙区」について

九州医連連絡会常任執行委員会(4 /13)で，九州各県の意向を確認した状況を踏まえ，参議院選挙東京選挙区から立候補する武見敬三先生のセミナーに協力することが承認された。

2. 政治活動用の街宣車運行について

九州医連連絡会常任執行委員会(4 /13)で，九州各県の意向を確認した状況を踏まえ，宮崎県医師連盟に対し依頼があった場合には，協力をを行うことが承認された。

3. 「羽生田たかし」先生への支援に関する各郡市医師連盟への訪問日程について

各地区で行われる各郡市医師連盟での会合(役員会・総会等)に合わせ，稲倉委員長を中心に訪問を行い，積極的に支援要請を行うことが承認された。

4. 4 /22 (月) 羽生田たかし先生 来県時の対応について

宮崎に滞在中の間，宮崎市内を中心に，できるだけ多くの医療機関を訪問すると共に，宮崎空港出発前に，会員との交流会を開催することが承認された。

5. 4 /26 (金) KPTEN 「宮崎を元気にする会」会員団体代表者会議の開催について

稲倉委員長が公務等で参加できないため，事務局対応とすることが承認された。

(報告事項)

1. 4 /13 (土) 沖縄 九州医連連絡会第 22回常任執行委員会について

## 平成 25年 4月 23日(火)第 1 回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 5/16(木)(ひまわり荘)社会保険医療担当者(医科)の個別指導(再開)の実施について

一時中断していた個別指導の再開で、前回に引き続き石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。

## 2. 本会外の役員等の推薦について

社会福祉法人宮日母子福祉事業団評議員の推薦について

佐藤雄一先生の逝去に伴う後任の推薦依頼で、県小児科医会会長の就任を希望していることから、県小児科医会に人選を依頼することが承認された。

平成 25年度介護支援専門員更新研修(実務経験者)及び専門研修開催に伴う講師推薦について

県の委託を受けて、介護支援専門員協会が実施している研修の講師推薦依頼で、人選については、石川・牛谷常任理事に一任することが承認された。

## 3. 後援・共催名義等使用許可について

「骨髄バンク普及映画」後援のお願い

劇場映画の公開を通じて骨髄バンクの普及と啓発を図り、骨髄移植推進団体を支援することを目的に作成される映画ではあるが、不明な点が多くあるため、関連情報を入手した上で、改めて検討することとなった。

9/28(土)～29日(綾陸上競技場)「リレー・フォー・ライフ・ジャパン みやざき・綾」後援名義使用承認申請書について

日本対がん協会が主体となり、「がん」に対する知識の普及・啓発を行うと共に、がん患者に対しては、がんと闘う勇気と

生きる希望、連帯感を実感できるイベントとして実施するもので、名義後援を行うことが承認された。

## 4. 5/25(土)(沖縄)九州医師会連合会第 333回常任委員会並びに第 105回定例委員総会の開催について

九医連常任委員の稲倉会長、九医連委員の河野・富田副会長、立元・吉田・池井常任理事、山元議長の参加が承認された。なお常任委員会に提出する議題については、稲倉会長に一任することとなった。

## 5. 宮崎県医師会役員等の選挙について

先の常任理事協議会で、定例代議員会並びに総会諸行事を 6月 15日(土)に開催することが承認されたが、立元常任理事から、定例代議員会に合わせ、正式に宮崎県医師会理事の欠員(1名)に伴う補欠選挙、宮崎県医師会裁定委員会委員の欠員(1名)に伴う補欠選挙、日本医師会代議員の欠員(1名)に伴う補欠選挙の 3つの選挙を、6月 15日を選挙日として実施する提案があり、出席者全員の賛成をもって承認された。

## 6. 母体保護法指定医指定申請について

母体保護法指定医師審査委員会の答申により、指定医 1名の申請が承認された。

## 7. 平成 25年度県立学校健康管理医報酬額について

県立学校職員の健康管理を行うもので、1校あたりの職員数に応じて報酬額が分かれており、昨年と同様の報酬とすることが承認された。

## 8. 平成 25年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契約について

昨年の契約をもとに、エックス線胸部直接撮影のデジタルを加え、契約を締結することが承認された。また、血液検査におい

て感度の良いELISPO T法を用いた検査が認められたため、次回検討を行うこととなった。

9. 平成 25年度訪問救急教室事業の委託契約について

地域の小児科医が、県内の保育所や幼稚園に出向き、職員・保護者等を対象に、小児救急医療の基礎知識を中心に講演を行う事業で、昨年と同額により契約を締結することが承認された。

10. 5・6月の行事予定について

5月の追加行事と6月の行事について確認が行われた。また4月30日に予定していた第4回常任理事会は、議題等を勘案し中止することとなった。

(報告事項)

1. 4 /19(金) 県医) 保険医療機関の指導計画等打合せについて
2. 4 /17(木) 日医) 医療基本法(仮称)に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会について
3. 4 /19(金) 日医) 日医定款・諸規程検討委員会について
4. 4 /20(土) 県医) 九医連監査・事務引継について
5. 4 /16(火) 県医) 母体保護法指定医師審査委員会について
6. 4 /18(木) 県医) 産業医部会理事会について
7. 4 /15(月) 県医) 広報委員会について
8. 4 /22(月) 県医) 広報委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5 /25(土) 沖縄) 九州医連連絡会第14回執行委員会の開催について

九医連常任執行委員の稲倉会長、九医連執行委員の河野・富田・立元・吉田・池井常任執行委員、山元南那珂医師連盟委員長の参加が承認された。

(報告事項)

1. 4 /22(月) 宮崎市内) 羽生田たかし先生との医療機関訪問について
2. 4 /21(日) 宮観ホテル) 日本医師会副会長羽生田たかし先生との意見交換会について
3. 4 /22(月) 宮崎空港) 県医連執行委員会について
4. 4 /22(月) 宮崎空港) 日医副会長羽生田たかし先生との交流会について

平成 25年 5月 7日(火) 第 4 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 10/3(木)～4(金) 日医) 第5回社会保険指導者講習会の開催日程について  
「高血圧診療のすべて」をメインテーマに開催されることが報告され、日医で開催される講習会への参加者及び宮崎県で行われる復講等の企画については、上田理事に一任することが承認された。
2. 会費減免申請について  
20年以上在籍かつ満年齢80歳に達しているとして、高齢による会費減免(県医)1件及び疾病による会費減免1件が承認された。
3. 本会外の役員等の推薦について  
第63回“社会を明るくする運動”宮崎県推進委員会委員への就任及び同推進委員会への出席について  
法務省主唱で、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、明るい地域社会を築くことを目的に設置される委員会で、都道府県の推進委員会の委員に、引き続き稲倉会長が就任することが承認された。

- 宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員の推薦について
- 広域連合会長の諮問機関として、後期高齢者医療制度に関連する事項について広く意見を求めるために設置される懇話会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。
4. 後援・共催名義等使用許可について
- 8 /10(土 福岡)「輸血シンポジウム 2013in九州」開催に係る名義後援について
- 「輸血医療の危機対応」をテーマに、輸血医療に携わる医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等を対象にして開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。
- 10/5(土 都城)「第2回都城緩和ケア研究会」への後援のお願いについて
- 「がん治療における緩和医療」をテーマに、緩和ケアの啓発・普及・質の向上を図り、患者や家族に対する真の援助を研究するために開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。
- 11/14(木)～ 15(金 宮観ホテル)第14回九州ブロック介護老人保健施設大会inみやぎの名義後援について
- 「共に創ろう、老健の未来のカタチ～みんなが安心して老いる社会を目指して～」をテーマに開催される介護老人保健施設九州ブロックの大会で、名義後援を行うことが承認された。
5. 平成 24年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について
- 医療及び医療の推進に精励し、格段の功績があった者に対して贈られる知事表彰で、郡市医師会からあげられた6名を推薦することが承認された。
6. 平成 25年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣及び県教育長被表彰者の推薦について
- 学校保健及び安全の普及とその充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、郡市医師会に照会の結果、文部科学大臣表彰1名と県教育長表彰10名を推薦することが承認された。
7. 第129回日本医師会定例代議員会(6月23日)における九州ブロック代表質問・個人質問について
- 優先順位を付することによって、個人質問については日医雑誌を用いた紙面回答になる可能性がある等、日医議事運営委員会決定事項の変更点の説明が行われた。なお、本会から九医連に提出する質問事項については、今回は見送ることとなった。
8. 「法曹養成制度検討会議・中間的取りまとめ」に対するパブリックコメントについて
- 近藤日出夫弁護士、宮田尚典弁護士より依頼があり検討を行っていたもので、本会として、法曹養成における経済的支援について、修習費用は貸与制ではなく給費制にすべきとした意見等を投稿することが承認された。
9. 県医師会役員等の補欠選挙の通知及び定例代議員会までのスケジュールについて
- 6月15日(土)の定例代議員会に合わせ開催する県医師会理事・裁定委員・日本医師会代議員の補欠選挙について、選挙細則第3条による会員への公示(日州医事)と代議員及び各郡市医師会長に対する通知の確認が行われた。また、定例代議員会までのスケジュール及び検討項目の確認が行われた。
10. 女性医師キャリア支援相談窓口運営等事業に関する業務の委託契約について
- 女性医師の離職を防止し、安心して出産・育児と勤務の両立ができる環境の整備を目

的に、相談窓口の設置と意識啓発セミナー等を行う事業で、昨年に引き続き契約を締結することが承認された。

11. 7 /2社(山口)第9回男女共同参画フォーラムの開催について

「みんなちがって、みんないい～伝えたい、豊かな医療人をめざすあなたへ～」をメインテーマに開催されるフォーラムで、荒木常任理事と金丸常任理事の出席が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4月末日現在の会員数について
3. 4 /25社(県庁)ジェイエイフーズみやざきとの調印式について
4. 4 /24社(日医)日医有床診療所に関する検討委員会について
5. 4 /26社(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
6. 4 /24社(県医)県臨床研修運営協議会について
7. 4 /28日(福岡)九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会について
8. 4 /24社(県医)病院部会・医療法人部会合同理事会について
9. 4 /2社(県医)日医生涯教育協力講座セミナー「心房細動と脳梗塞」について
10. 5 /7日(県医)治験審査委員会について
11. その他  
 社保審査員の推薦について  
 県医師会の推薦する2名について、県外科医会の要望等もあり、調整を行っていることが報告された。

医師連盟関係

(報告事項)

1. 5 /1日(宮崎市郡医師会館)宮崎市郡医師連盟訪問について

平成 25年 5月 14日(火)第5回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 社保審査委員会委員の推薦について  
 2名の県医師会枠は、河野副会長と上田理事に変更すると報告が行われた後、選定基準に従い郡市医師会並びに各専門分科医会から出された候補者について検討が行われ、原案通り推薦することが承認された。
2. 6 /6日(JA 佐賀)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について  
 8医療機関を対象に行われる新規の個別指導で、立元常任理事を立会い人として派遣することが承認された。
3. 本会外の役員等の推薦について  
 宮崎県公害健康被害認定審査会委員及び公害健康被害診療報酬審査委員の推薦について  
 公害健康被害の補償等に関する法律等に基づき設置される委員会で、任期満了に伴い、認定審査委員会委員1名と診療報酬審査委員1名の推薦依頼があり、引き続き松尾剛志先生を推薦することが承認された。  
 宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の推薦について  
 関係機関との連携を図り高齢者の虐待防止策を総合的に推進することを目的に設置されている委員会、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。  
 宮崎県感染症発生動向調査委員会委員の推薦について  
 感染症対策の評価を行い疾病予防及び感染症まん延防止に資することを目的に設置される委員会、佐藤雄一先生の逝

- 去に伴う後任の推薦依頼があり，人選を県小児科医会に依頼することが承認された。
- 宮崎県後期高齢者広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について
- 療養費支給の適正化を図るために設置される研究会で，引き続き，河野副会長と県整形医会田島直也會長を推薦することが承認された。
4. 後援・共催名義等使用許可について
- 7/21日( 県立看護大学 )平成 25年度全国禁煙アドバイザー育成講習会in宮崎の後援について
- 「つながろう禁煙支援の輪 - ほんの少しは0じゃない - 」をスローガンに開催される講習会で，名義後援を行うことが承認された。
5. 「第 44回中四九地区医師会看護学校協議会」への担当理事派遣について
- 八幡医師会看護専門学院が当番校となり「飛び立て明日へ， - 医師会看護学校 - 」をテーマに開催される協議会で，立元常任理事が出席することが承認された。
6. 5/28日( 宮観ホテル )宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会について
- 進行と役割分担等の確認が行われた。
7. 平成 24年度宮崎県医師会事業報告( 案 )について
- 公益法人移行後，初めてとなる事業報告で，目次を設置，事業計画にそって箇条書き等の改良を加え，( 案 )を作成したとの説明が行われ，今後，担当役員を中心に再度確認を行い，来週の常任理事協議会を経て，5月28日の理事会に提出することが承認された。
8. 平成 24年度宮崎県医師会収入支出決算( 案 )について
- 当期経常増減額，資金ベースの収支差額等概略の説明が行われ，今後，担当役員を
- 中心に再度確認を行い，来週の常任理事協議会を経て，5月28日の理事会に提出することが承認された。
9. 平成 25年度HTLV -1( ヒトT細胞白血病ウイルス 型 )母子感染対策事業に係る業務の委託契約について
- 疾病に対する基本的知識等を習得するための研修会やマニュアルの作成，相談事業の普及啓発，実態調査等を行う事業で，契約を締結することが承認された。
- また，県と締結する委託契約全般に関して，第三者への損害賠償責任が受託側( 県医師会 )のみになっていることは問題なのではないかとの指摘があり，他の契約も含め確認，見直しを行うこととなった。
10. 平成 25年度家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業に係る業務の委託契約について
- 望まない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に，実態調査や手引きの作成，配布を行う事業で，契約を締結することが承認された。
11. 平成 25年度臨床研修医師確保事業に関する業務の委託契約について
- 医学生等に対し研修病院のPRを行う臨床研修病院説明会事業と優れた臨床研修指導医を養成する事業で，契約を締結することが承認された。
12. 平成 25年度「ピンクリボン活動みやざき」に係る協賛及びグッズ購入について
- 県民一人一人に「乳がんの早期発見・早期治療」のメッセージを発し，行動に繋がる啓発活動を実施することを目的に実施される活動への協力依頼で，協賛を行うことが承認された。
13. 6/3日( 日医 )都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の開催について
- 地域産業保健センター事業等の一括運営及び緊急雇用創出事業の活用による医療分

野の「雇用の質」の向上のためのアドバイザー派遣事業」の協議を目的に開催される連絡協議会で、産業医と勤務医担当理事の派遣要請があり、池井常任理事の出席が承認された。なお、勤務医担当役員の出席については調整することとなった。

14. 平成 25年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員の推薦について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される協議会で、引き続き常任委員に富田副会長を推薦することが承認された。

15. 平成 25年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員の推薦について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される協議会で、引き続き運営委員に牛谷常任理事を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 5 /10( 県医 )倫理向上・自浄作用活性化委員会について

2. 5 /8( 県庁 )東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議について

3. 5 /13( 県医 )地域医療再生基金要望打合せ会について

4. 5 /14( 県医 )産業医部会総会・研修会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 自民党宮崎県第一選挙区支部参与就任のお願いについて

参与に稲倉委員長が就任することを承認した。

2. 6 /1( 宮観ホテル )自民党宮崎県第一選挙区支部総会開催について

稲倉委員長が所用により出席できないため事務局で対応することとなった。

(報告事項)

1. 5 /9( 児湯医師会館 )児湯医師連盟訪問について

## 県医師会在宅医療協議会入会のご案内

県医師会在宅医療協議会は、在宅医療に携わる医師の知識向上、情報交換、並びに在宅医療の普及を目的に平成 24年 5月に会員 130名をもって設立されました。

年数回の研修会開催のほか、現在は地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に向け、役員、世話人が奔走しています。また、在宅で困っていること、多職種連携の方法など会員同士の情報交換のためにメーリングリストを運用しています。

ご興味のある先生は、ぜひご入会いただき、いっしょに在宅医療を推進していきましょう。ご入会につきましては、県医師会地域医療課に入会申込書をご請求ください。

*協議会に入会済みでメーリングリストに加入されていない先生は、事務局までメールアドレスをお知らせください。

## 県 医 の 動 き

( 5 月 )

1	医家芸術展世話人会(河野副会長他) 宮崎市郡医師連盟訪問(会長他)		
6	(振替休日) おぎやー献金基金チャリティーコンサート	20	九州・沖縄地区防衛協議会(事務局) 宮大学長選考会議(会長) 県立看護大学参与会(立元常任理事) 宮大救命救急センター逆搬送体制構築協議会 (会長他)
7	治験審査委員会(富田副会長他) 第4回常任理事協議会(会長他)		
8	東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議 (古賀常任理事) 支払基金幹事会(会長) 県内科医会会計監査 県医師会労災部会監査 改正母体保護法に関する研修会(濱田常任理事)	21	県腎臓バンク理事会(河野副会長) 県ドクターヘリ運行調整委員会(古賀常任理事) 県学校保健会理事・評議員会(会長他) 学校保健・学校安全に関する文部科学大臣表彰 及び県教育長表彰推薦審査会(会長) 医協打合会(立元常任理事) 第6回常任理事協議会(会長他)
9	児湯医師連盟訪問(会長) 県整形外科医会理事会	22	全医連代表者会(東京)秦理事長) 県内科医会学術委員会 延岡市医師連盟訪問(会長) 母体保護法指定医新規申請者事前研修会 (濱田常任理事)
10	倫理向上・自浄作用活性化委員会(会長他)		
11	産業医部会総会・研修会(会長他)	23	広報委員会(荒木常任理事他) 西都市西児湯医師連盟訪問(会長)
13	勤務医部会理事会 地域医療再生基金要望打合せ会(会長他)	24	県医療審議会(会長他) 県医会計監査(会長他)
14	日医理事会(日医)会長) 日医・公益社団法人移行記念祝賀会(東京)会長) 第5回常任理事協議会(河野副会長他)	25	九医連常任委員会(沖縄)会長) 九医連定例委員総会(沖縄)会長他) 九州医連連絡会執行委員会(沖縄)会長他)
15	全体課長会(事務局) 新人看護職員研修推進協議会(牛谷常任理事) 医協会計監査(会長他)	27	県アイバンク協会理事会(会長他) 女性医師委員会(河野副会長他)
16	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事) 広報委員会(富田副会長他) 県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)	28	医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 医協理事会(会長他) 第1回理事会(会長他) 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇 談会(会長他)
17	西日本シティ銀行特別講演会・記念パーティー (会長) 医師国保理事会(秦理事長他) 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(宮城) (金丸常任理事)	29	労災診療指導委員会(河野副会長他) 県内科医会理事会 都城市北諸県郡医師連盟訪問(会長)
18	日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(宮城) (金丸常任理事) 勤務医部会理事会 勤務医部会総会・前期講演会	30	県内科医会評議員会 学校医部会理事・評議員会(会長他)
19	日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(宮城) (金丸常任理事)	31	九州地方社会保険医療協議会総会(福岡) (富田副会長) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 南那珂医師連盟訪問(会長)

## 5月のベストセラー

- |    |                                 |           |                    |
|----|---------------------------------|-----------|--------------------|
| 1  | 海賊とよばれた男(上)(下)                  | 百 田 尚 樹   | 講 談 社              |
| 2  | 暦物語                             | 西 尾 維 新   | 講 談 社              |
| 3  | 野心のすすめ                          | 林 真 理 子   | 講 談 社              |
| 4  | 医者に殺されない47の心得                   | 近 藤 誠     | ア ス コ ム            |
| 5  | 今やる人になる 400の習慣                  | 林 修       | 宝 島 社              |
| 6  | 大泉エッセイ                          | 大 泉 洋     | メディアファクトリー         |
| 7  | わりなき恋                           | 岸 恵 子     | 幻 冬 舎              |
| 8  | 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年            | 村 上 春 樹   | 文 藝 春 秋            |
| 9  | 知らない恥をかく世界の4大問題<br>日本が対峙する大国の思惑 | 池 上 彰     | 角川グループ<br>ホールディングス |
| 10 | からだにやさしい旬の食材 野菜の本               | 講 談 社 編 集 | 講 談 社              |

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時的無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。

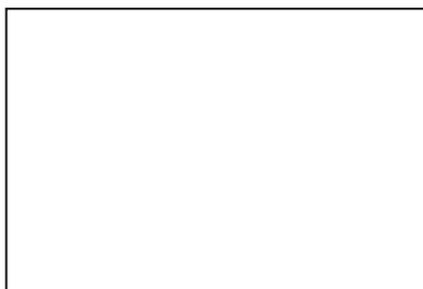
お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 野尻・小川



## 追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

吉 田 精 孝 先生

(昭和 2年 9月 20日生 85歳)

弔 辞

本日、亡き吉田精孝先生  
のご葬儀が執り行われるに  
あたり、延岡市医師会を代  
表致しまして、謹んで哀悼  
の意を表し、お別れの言葉  
を申し上げます。

先生は予てより病氣療養  
中のところ、去る 5月 6日に、お亡くなりにな  
られました。今、先生の御遺影に向かいお別れ  
の言葉を申し上げることになるうとは、私共医  
師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみと、  
さみしさで申し上げる言葉もございません。

ましては、ご家族をはじめご遺族の方々、先  
生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ば  
かりかとお察し申し上げ、衷心よりお悔やみ申  
し上げる次第でございます。

先生は、昭和 2年 9月 20日、延岡市北小路で  
お生まれになりました。昭和 29年、熊本医科大  
学をご卒業され、その後、熊本県小川再生院の  
勤務、さらには天草郡阿村診療所の勤務を経て、  
昭和 34年には地域住民の切なる希望にお応えに  
なつて、延岡市松原町に吉田医院をご開業なさ  
いました。

その後、ベッドの増床に伴い吉田病院となら  
れ、今日までに病院の機能整備強化に努められ、  
30床の精神科デイケア並びに重度認知症のデイ  
ケア等を備えた、延岡を代表する精神科病院と  
して邁進してこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者  
さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理と、精

神保健衛生の指導に尽力しながら、公衆衛生、  
地域医療について深い関心と信念を持ち、延岡  
の代表的な精神科医として昼夜を問わず献身的  
な診療を行ってこられました。

先生はご多忙な診療の傍ら昭和 42年から昭  
和 47年までの六年間、延岡市医師会理事を務め  
られて数々の医師会会務運営に力を注がれま  
した。

又、一方では長年にわたり、宮崎県精神病院  
協会の役員、家庭裁判所の調停委員、県北部の  
4福祉事務所の嘱託医、さらには延岡市立土々  
呂中学校並びに延岡南養護学校の校医として精  
神科医師としての専門的な立場から献身的に取  
り組んでおられました。その功績に対し精神保  
健の福祉保健事業功勞として平成 2年に宮崎県  
知事表彰、平成 1年に厚生大臣表彰、平成 15年  
には勲四等瑞宝章を受章されるなど輝かしい功  
績を残しておられます。

その他、地域活動に対する功績も顕著であ  
り、先生は青少年の育成、スポーツの振興など  
にも幅広く目を向けられて、スポーツを通じて  
青少年の健康増進、精神衛生の向上に精魂を傾  
けられたことは既にご承知のとおりです。その  
輝かしい功績につきましても延岡市文化功勞  
章、日本顕彰会「社会貢献者表彰」など輝かしい  
受賞をお受けになられております。

このような、延岡市医師会の歴史の創設者  
の一員としておられました先生がご逝去なさい  
ましたことは、会員にとりましてかけがえのな  
い財産を失うことであり、痛恨の極みであり  
ます。

先生にはまだまだ遣り残したことがたくさん  
おありのことと存じますが、先生も生前からご  
覧のように、後継者の建世先生が既に、理事長  
としての重責を担われております。さらには、

我々、延岡市医師会副会長という役職の中で、延岡市医師会病院の管理運営と、さらには宮崎県医師会の常任理事としての業務も、我々延岡市医師会の代表として立派にご活躍されておられるところでございます。

今後も医師として先生のご遺志に添って必ずや地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に対し尽くしてこられたご功績を忘れることなく、先生のお示しいただきました医療、更には医師会運営に取り組む真摯なお姿を心に刻みながら、会員一同地域医療の

発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

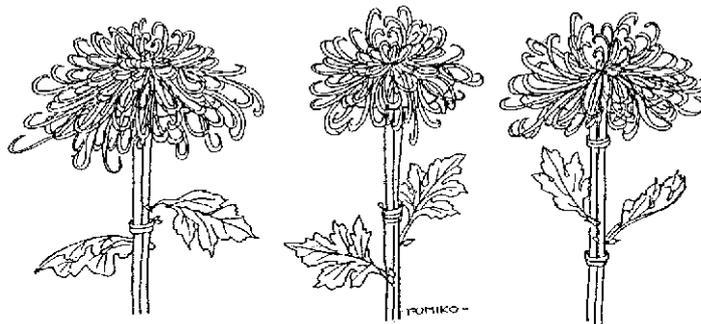
先生の温顔に再び接することは出来ませんが、ご家族をはじめご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げます、黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

吉田精孝先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成25年5月9日

延岡市医師会

会長 牧野剛緒



新 所得補償保険のご案内  
今月から

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 25年 5月 1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5人

#### 1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	4	2	2
外 科	1	1	0

### 2. 斡旋成立件数 46人

	男性医師	女性医師	合 計
平成 25 年 度	1	0	1
平成 16年度から累計	34	12	46

### 3. 求人登録 91件 342人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	100	70	30
外 科	34	25	9
整 形 外 科	28	21	7
精 神 科	21	17	4
循 環 器 科	16	16	
脳 神 経 外 科	11	10	1
消 化 器 内 科	17	14	3
麻 酔 科	10	8	2
眼 科	9	7	2
放 射 線 科	6	6	
小 児 科	6	4	2
呼 吸 器 内 科	11	9	2
リハビリテーション科	4	4	
血 液 内 科	2	2	
神 経 内 科	11	10	1
救 命 救 急 科	6	6	
健 診	7	3	4
産 婦 人 科	4	4	
泌 尿 器 科	3	1	2
検 診	2		2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	1	1	
耳 鼻 咽 喉 科	1	1	
そ の 他	29	24	5
合 計	342	265	77

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医)わか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整放麻内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレスピア プレスピアなんば病院	宮崎市	乳腺内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼神内眼総診呼外, 臨病乳外整外麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	内精	3	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内内分泌糖内呼リウマチ, 神経内健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮崎市	外内	6	常勤・非常勤
180061	医)あいクリニック	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内神内整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内外	7	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化麻循リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内外救急呼外婦人	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内外放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内外整	12	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローらみやざき	国富町	内外	2	常勤
230140	医)将優会 クリニックうしたに	宮崎市	外内整家庭医総合臨床	1	常勤
230141	医)博愛社 佐土原病院	宮崎市	内	1	非常勤
230143	医)社団孝寿会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内呼吸内消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230145	のぞみ医院	宮崎市	内	1	非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内神内外整外脳外, リハ麻酔救急	9	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医)敏和会 戸嶋病院	都城市	内消内整神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内救急放射脳外外, 総合眼透内	8	常勤
170056	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	循内脳外呼神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内外整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内血内循内脳産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三股町	精内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内呼	4	常勤
190093	一社 藤元総合病院付属総合健診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
240142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,皮,放,内,消外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,内,緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外,麻,精,神,内,脳,神経, 老,施,心,内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,神,内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230130	医)ラポール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,心,内,眼,健診,循,脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼,循,消,内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼,麻,脳	13	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精,内,外	4	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内,消,内,神,内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神,内,整,リハビリ	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎,内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,整,皮膚	5	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	循,救,急,産,婦,放,小	10	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,内,整	7	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神,内,循,内	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 25年 5月 17日現在

1 . 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番 ,2634番 土地のみ : 593.57坪( 2022.17㎡)
2 . 賃貸物件	宮崎市曾師町 209-3( 旧 田川内科医院跡地 ) 建物 : 鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡ , 2 階 166.69㎡ 駐車場 : 10台分
	延岡市大門町 188-1( 旧 白坂内科医院跡地 ) 建物 : 鉄筋造平屋建 205㎡ 駐車場 : 10台分

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

- 1 . 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
- 2 . 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
- 3 . 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
- 4 . ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
- 5 . 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
- 6 . 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoubank@miyazakimed.or.jp

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 5月 28日現在

		6		月	
1	土	13 30 置県 130年記念式典	13	木	13 00 (日医)日医定款・諸規程検討委員会
		15 00 県整形外科医会役員・評議員会			15 00 全国国保組合協会通常総会
2	日	15 00 県外科医会理事・評議員会	14	金	15 00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会
		15 30 県整形外科医会総会			19 00 園医部会理事会
3	月	15 30 県外科医会総会	15	土	19 30 県産婦人科医会常任理事会
		16 00 労災部会総会			10 00 「食・農・環境 宮崎県民フォーラム」学習会
4	火	16 45 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会	16	日	14 30 医師協同組合総代会
					15 10 県医連執行委員会
5	水	15 00 (日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会	17	月	15 45 県医定例代議員会
		19 30 日産婦学会専門医制度委員会地方委員会			17 00 県医総会
6	木	10 00 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会	18	火	19 00 広報委員会(宮崎の医療を考える会)
		14 30 産業医研修会(実地)			19 00 医師国保組合定例事務監査
7	金	18 00 治験審査委員会	19	水	14 00 (日医)日医理事会
		19 00 第7回常任理事協議会			18 20 医協打合会
8	土	20 00 医師国保組合理事会	20	木	19 00 第9回常任理事協議会
					9 10 全体課長会(事務局)
9	日	13 30 日本赤十字社宮崎県支部評議員会	21	金	14 00 産業医研修会
		14 00 県健康づくり協会理事会			
10	月	17 00 県腎臓バンク評議員会	22	土	
11	火	19 00 県医学会役員会	23	日	9 30 (日医)日医定例代議員会
		19 00 県警察医会協議会			16 00 県小児科医会役員会
12	水	14 00 (日医)日本糖尿病対策推進会議総会	24	月	10 00 宮大経営協議会・学長選考会議
		14 30 (日医)日医地域医療対策委員会			19 00 広報委員会
13	木	15 00 (日医)日医医療秘書試験委員会	25	火	18 00 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議
		16 00 九医連常任委員会			18 15 宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会
14	金	17 00 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議	26	水	19 00 第2回全理事協議会
		17 30 宮大医学部附属病院マッチング説明会			終了後 医協理事・運営委員合同協議会
15	土	18 30 病院内部・医療法人部会合同総会	27	木	15 00 労災診療指導委員会
					19 00 県内科医会医療保険委員会
16	日	16 00 県内科医会総会・特別講演会	28	金	13 00 (日医)都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会
					19 00 県内科医会誌編集委員会
17	月		29	土	
18	火	19 00 第8回常任理事協議会	30	日	10 00 レジナビフェア(事務局)
		16 00 支払基金幹事会			
19	水	19 30 日向市東臼杵郡医師連盟訪問			

都合により、変更になることがあります。

国保審査

社保審査

2017.05.28

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 5月 28日現在

7		月					
1	月			18	木	19 00 医療現場のワークライフ・バランス セミナー	
2	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 10回常任理事協議会		19	金		↑
3	水	19 00 県内科医会理事会					↑
4	木						↑
5	金			20	土	15 00 日医生涯教育協力講座セミナー 「家庭血圧測定的重要性～仮面 高血圧の診療の実際～」	国 社 保
6	土						
7	日	全医協連広報部会		21	日		保 審
8	月			22	月		審 査
9	火	14 00 産業医研修会 18 30 第 3 回全理事協議会 19 00 新研修医保険診療等説明会及び祝 賀会		23	火	12 30 (日医)日医理事会 14 20 (日医) 都道府県医師会長協議会 18 20 医協打合会 19 00 第 11回常任理事協議会	査
10	水	16 00 支払基金幹事会		24	水		↓
11	木	19 00 産業医研修会( TV 会議 ) 19 30 県産婦人科医会常任理事会		25	木	13 30 産業医研修会 19 00 広報委員会	
12	金	14 30 (日医)日医地域医療対策委員会 19 00 医師国保組合理事会 19 30 広報委員会		26	金	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会 19 00 医師国保組合通常組合理事会	
13	土	19 00 首都圏医師との交流会					
14	日	10 00 レジナビフェア		27	土	男女共同参画フォーラム 14 30 産業医研修会( 実地 )	
15	月			28	日		
16	火	18 30 第 4 回全理事協議会 19 00 県福祉保健部・病院局と県医師会と の懇談会		29	月		
17	水	14 00 産業医研修会 19 00 病院部会・医療法人部会合同理事会 19 30 日本消化器外科学会総会評議員拡大 プログラム委員会		30	火	18 00 医協理事会 18 30 第 5 回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19 20 各都市医師会長協議会	
				31	水	15 00 労災診療指導委員会	

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数, CC カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 69回宮崎県精神 科医会懇話会 6月1日(土) 17:30~19:00 宮崎観光ホテル	脳科学からみたうつ病の病態と治療 広島大学医歯薬保健学研究院精神神経医科学 教授 山脇 成人	共催 宮崎県精神科医会 ☎ 0982-37-0126 大日本住友製薬(株)	1.5	20 69 70
第 12回宮崎県皮膚 科懇話会 第 5 回日臨皮宮崎 県支部会 6月1日(土) 18:00~19:00 県立宮崎病院	こどもの食物アレルギー - 診断と対応について - 国立病院機構熊本医療センター小児科 緒方 美佳	主催 宮崎県皮膚科医会 (連絡先) たじり皮膚科医院 ☎ 0985-84-1110	1	15
宮崎県医師会産業 医研修会 6月4日(火) 14:30~16:00 都城圏域地場産業 振興センター	事業場の環境管理(温度・騒音・照明・分煙等) 下津労働衛生コンサルタント事務所代表 下津 義博 生涯研修の現地研修会 1.5単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	1.5	8 9 11
第 32回ひむか運動 器セミナー 6月5日(水) 19:15~20:30 宮崎観光ホテル	腰痛診療ガイドラインに基づいた腰痛診療 - 理想と現実のギャップをどう埋めていくか - 東京大学医学系研究科整形外科科学准教授 竹下 克志	共催 ひむか運動器セミナー 昭和薬品化工(株) ☎ 03-3567-9585	1	59 60

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 8 回宮崎心臓リ ハビリテーション セミナー 6月6日(木) 18 50~ 20 30 JA A ZM ホール	離島での心臓リハビリテーション いづはら病院理学療法士 山田 宏美 心不全 フロントで考える 新潟南病院統括常勤顧問 和泉 徹	共催 日本化薬(株) 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119	1.5	1 5 15
延岡医学会学術講 演会 6月7日(金) 19 00~ 21 00 ホテルメリージュ 延岡	印象に残る自験例から 宮崎大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学分野 教授 瀬戸山 充	共催 延岡医学会 協和発酵キリン(株) ☎ 0985-22-8801 後援 延岡内科医会	1	13 26
第 3 回宮崎アテロ ーム血栓症フォー ラム 6月7日(金) 19 00~ 21 00 ホテルJA Lシティ 宮崎	皆様と考える脳卒中診療，急性期治療と再発予防を 中心に 東京慈恵会医科大学神経内科主任教授 井口 保之	共催 宮崎県内科医会 大塚製薬(株) ☎ 0985-24-2287	1.5	11 73 78
宮崎県内科医会総 会・学術講演会 6月8日(土) 16 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	救急領域における中枢神経疾患 宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野教授 落合 秀信 生活習慣病・ステロイド過剰と骨粗鬆症 徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学教授 松本 俊夫	共催 宮崎県内科医会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県医師会 小野薬品工業(株)	2	2 13 73 77

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 179回宮崎県泌尿器科医会学術講演会 6月11日(火) 18 50~ 20 30 宮崎観光ホテル	当科における小児腎泌尿器疾患管理の現状 宮崎大学医学部小児科学分野 今村 秀明 小児腎移植の現状と課題 東京女子医科大学腎臓小児科教授 服部 元史	共催 宮崎県泌尿器科医会 アステラス製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968	1.5	9 15 84
都城市北諸県郡医師会学術講演会 6月11日(火) 19 00~ 20 30 都城ロイヤルホテル	心血管イベントを未然に防ぐ - 血圧からのアプローチ - 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授 大石 充	主催 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711 共催 武田薬品工業(株)	1.5	13 73 74
循環器疾患検討会特別講演会 6月13日(木) 19 00~ 20 15 宮崎観光ホテル	榊原記念病院における心不全診療体制 榊原記念病院副院長・循環器内科部長 吉川 勉	共催 循環器疾患検討会 エーザイ(株) ☎ 080-5901-4422	1	24 44
宮崎県肝疾患学術講演会 6月13日(木) 19 00~ 20 30 シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート	県下の肝炎治療費助成制度の現状 宮崎県福祉保健部健康増進課課長 和田 陽市 B型肝炎再活性化の基礎知識 京都大学医学研究科消化器内科学講師 丸澤 宏之	共催 宮崎県 宮崎県肝疾患診療連携拠点病院 プリストル・マイヤーズ(株) ☎ 099-805-3325	1.5	18 27 73

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 77回 江南医療 連携の会・症例 検討会 6月13日(木) 19 00~ 20 30 社会保険宮崎江南 病院	体内異物の画像診断 社会保険宮崎江南病院健診センター長 杜若 陽祐 指粘液嚢腫の治療について 社会保険宮崎江南病院形成外科医長 石田 裕之 生活習慣病に対する取組みについて 社会保険宮崎江南病院内科部長 渡邊 玲子	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	12 48
第 9 回宮崎消化器 内科セミナー 6月14日(金) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル	肝癌の内科的治療 - 先端的治療を含めて - 順天堂大学医学部附属練馬病院消化器内科 准教授 國分 茂博 H pylori感染症の最近の話題 大分大学医学部消化器内科診療教授 村上 和成 参加費 500円(研修医・学生は無料)	共催 宮崎消化器内科セミナー 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763	2	1 8 11 15
第 1回宮崎NST研 究会 6月15日(土) 15 00~ 18 15 宮崎県立芸術劇場	在宅ケアのつながる力 - これからの訪問看護の展望を見据えて - (株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション 代表取締役・統括所長 秋山 正子 参加費 1,000円	共催 宮崎NST研究会 宮崎県プライマリ・ケア研究会 宮崎県栄養士会 宮崎県薬剤師会 (株)大塚製薬工場 ☎ 096-359-1808	1.5	10 13 80
第 15回宮崎県眼科 医会講習会 6月15日(土) 16 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	アレルギー性結膜疾患の治療戦略 東京女子医科大学眼科学教室臨床教授 高村 悦子 緑内障診療の進歩 広島大学医歯薬学総合研究科視覚病態学教授 木内 良明 参加費 3,000円(開業医・勤務医) 2,000円(公的医療機関勤務医)	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 千寿製薬(株)	3	36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 66回宮崎整形外 科懇話会 6月15日(土) 18:00~19:00 JA A ZM ホール	股関節の instability と in pingem ent の病態と治療 広島大学医歯薬保健学研究院人工関節・ 生体材料学講座教授 安永 裕司 参加費 1,000円	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	57 61
第 79回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 6月17日(月) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	循環器診療における抗血小板療法の必要性とその問 題点 自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器科教授 阿古 潤哉	共催 サノフィ(株) 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119	1.5	1 3 15
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 6月18日(火) 18:45~20:30 ホテル中山荘	Gut controls Brain 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝分野 教授 中里 雅光	主催 都城市北諸県郡医師会 内科医会 共催 協和発酵キリン(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1.5	73 76 82
宮崎県医師会産業 医研修会 6月19日(水) 14:00~16:00 県医師会館	職場のメンタルヘルス対策の重要性 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 5 69 70
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 6月19日(水) 19:00~20:30 ホテルベルフォー ト日向	認知症 BSPD の基礎知識及び各職種の役割分担 (医)相生会認知症センター長 中野 正剛	共催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡薬剤師会 日向市東臼杵郡内科医会 (株)ソムラ	1.5	13 29 83

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ がん
第 5 回宮崎県泌尿器科 - 内科連携の会 6月20日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	過活動膀胱治療の最近の知見について 日本大学医学部泌尿器科学主任教授 高橋 悟	共催 宮崎県泌尿器科医会 宮崎県内科医会 ファイザー(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968	1.5	65 67 84
平成 25年度心臓検診第一次検討会(後期) 6月20日(木) 19 00~ 21 00 日向市東臼杵郡医師会館	症例検討会	主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 後援 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	2	11 33 43 44
南那珂認知症地域連携パス講演会 6月21日(金) 18 30~ 20 00 南那珂医師会館	さがみはら認知症地域連携パス作成の経緯と成果 北里大学東病院精神科病棟単位責任者 石川 美雪 うつ状態の理解と援助 - 超高齢社会における地域ケア体制 - 北里大学医学部精神科診療講師 大石 智 認知症地域連携パスへの期待 北里大学医療系研究科一般研究員 下村 裕見子	主催 宮崎県立日南病院エーザイ(株) 後援 南那珂医師会 南那珂整形外科疾患連携協議会 南那珂糖尿病連携ネットワーク 南那珂脳卒中連携の会 (連絡先) 県立日南病院医療連携科 ☎ 0987-21-1637	1	29 70
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 6月21日(金) 19 00~ 21 00 ホテルベルフォート日向	消化器内視鏡 - 過去, 現在, 未来 - 東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科内視鏡科教授 田尻 久雄	共催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡医師会薬剤師会 第一三共(株)	1	15 52

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ がん
第 16回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 6月22日(土) 15 45~ 19 00 M R T m icc	骨・関節疾患にたいする三次元的アプローチ 東京慈恵会医科大学整形外科学講座教授 丸毛 啓史 末梢神経障害の機能回復と最近の話題 防衛医科大学校整形外科教授 根本 孝一 高齢者脊柱変形と機能障害 - その問題点と治療 - 獨協医科大学病院長 野原 裕 参加費 1,000円	共催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	3	2 19 60 61 62 77
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 6月22日(土) 16 20~ 17 40 日向市東臼杵郡医師会館	心とからだにやさしい重粒子線がん治療 佐賀国際重粒子線がん治療財団専務理事 北村 信	主催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	1	8 9
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 6月27日(木) 18 45~ 20 45 ガーデンベルズ小林	骨粗鬆症とロコモティブシンドローム 産業医科大学整形外科学准教授 酒井 昭典	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 小野薬品工業(株)	2	59 60 62 77
宮崎木曜会創立記念講演会 6月27日(木) 19 30~ 20 30 M R T m icc	抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドラインを読み解く 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部部長 藤成 光弘	共催 宮崎木曜会 宮崎県内科医会 アストラゼネカ(株) ☎ 080-4364-0144 第一三共(株)	1	50 52

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 80 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 7 月 1 日(月) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	冠動脈硬化の病態と治療 OCT による検討 和歌山県立医科大学循環器内科教授 赤阪 隆史	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 大塚製薬(株)	1.5	2 9 11
平成 25 年度心臓検 診第二次検討会 (後期) 7 月 5 日(金) 19 00~ 21 00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会	主催 日向市東臼杵郡医師 会心臓検診班 後援 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	2	11 33 43 44
宮崎県医師会産業 医研修会 7 月 9 日(火) 14 00~ 16 00 県医師会館	医療福祉施設の感染症対策 藤木病院理事長 藤木 浩 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	9 11 13 14
第 78 回 江南 医療 連携の会・症例 検討会 7 月 11 日(木) 19 00~ 20 30 社会保険宮崎江南 病院	前額皮弁による外鼻再建の 3 例 社会保険宮崎江南病院形成外科医員 梅田 基子 橈骨神経損傷を合併した、上腕骨顆部粉碎骨折の 1 例 社会保険宮崎江南病院整形外科部長 益山 松三 昨年度・消化器内視鏡検査総括 社会保険宮崎江南病院放射線科部長 伊藤 泰教	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	53 57

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
宮崎県医師会産業 医研修会 7月11日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館(TV会 議 都城・延岡・ 日向・西都・南那 珂・西諸・西臼杵)	職場に潜む依存症 都城新生病院医師 前原 正法 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 5 69 70
宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(水) 14 00~ 16 00 県医師会館	職場のストレスと対処 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	11 13 69 70
宮崎県医師会産業 医研修会 7月25日(木) 13 30~ 15 30 都城圏域地場産業 振興センター	労働衛生行政の動向 - 最近の報道発表資料(厚生労働省)から - 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 7 8 9
宮崎県医師会産業 医研修会 7月27日(土) 14 30~ 16 30 県医師会館	作業環境管理・作業管理について(仮) 宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授 黒田 嘉紀 基礎研修・生涯研修の現地研修会 2単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 9 11 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第 72回宮崎大学眼科研究会 7月 27日(土) 17 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	身近な眼瞼疾患 - 子持ち女医がいかに仕事を続けるか - 北海道大学医学研究科眼科学分野助教 野田 実香 緑内障検査...たくさんの検査値をどう使いこなす? 東京慈恵会医科大学眼科学教室講師 中野 匡 参加費 2,000円	主催 宮崎大学医学部眼科学教室 ☎ 0985-85-2806	2	36
宮崎県医師会産業医研修会 8月 6日(火) 13 30~ 15 30 延岡地域職業訓練センター	事業場の環境管理(温度・騒音・照明・分煙等) 下津労働衛生コンサルタント事務所代表 下津 義博 生涯研修の現地研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	8 9 11 84
宮崎県医師会産業医研修会 8月 9日(金) 14 00~ 16 00 県医師会館	事業所におけるうつ病対策 西都病院医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 11 69 70
宮崎県医師会産業医研修会 8月 17日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館	作業環境管理について(仮) 三財病院副院長 松本 英裕 健康管理について(仮) SUM CO TECH X IV 産業医 谷山 ゆかり 基礎研修の前期研修会 2単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	1 3 5 9 11 12 82 84

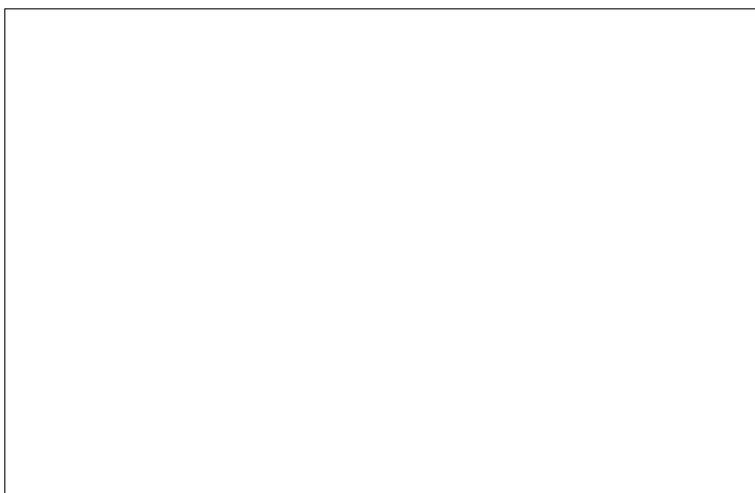
## お知らせ

## 第 14回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展は、本年で第 14回を開催する運びとなりました。

おかげさまで、昨年は 44名の方々から 119点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い、素晴らしい展覧会となりました。また、入場者は 5日間で 1,451人を数え、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

今年も県立美術館の県民ギャラリー 1 及び 2 を確保して、下記の要領にて作品を募集いたします。会員及びご家族のご出展を心よりお待ちしております。



( 前回会場風景 )

展示期間：平成 25年 8月 13日(火)～ 18日(日) 6日間)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2

応募作品：書道、絵画、写真

応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

応募方法：出品希望の方は応募用紙を送付しますので、下記までご連絡ください。出品者名、出品部門、作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。

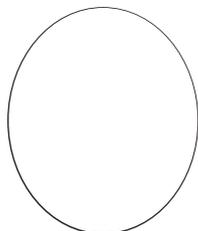
作品の搬入・搬出につきましては、各自の責任のもとでお願いいたします。

応募締切：6月 21日(金) 締切を延長しました。

応 募 先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118・FAX 0985-27-6550

## 診療メモ



## 在宅死に係る諸問題

宮崎市 大西医院 おおにしゆうじ 大西雄二

警察医をしているためその関連の相談を受けることがある。電話口から旧知の先生の切迫した困惑の態の表情が浮かんできた。

「通院中の 79歳の男性が自宅で、死亡していると訪問ヘルパーから連絡がありました。狭心症と糖尿病で投薬治療しています。受診は 1 週間前です。どうすればいいでしょうか？」

かかりつけ患者の在宅での死亡例であった。

「まずご遺体、周囲の状況に異変がないかどうか確認してください。1 週間前の診断がそのまま継続し、原疾患に因るものとお考えであれば、病死として「死亡診断書」を発行してかまいません」。

メタボリック症候群を有する高齢者の増加で突然死例が増えている。突然死は発症から死亡まで時間が短いのみならず、予期できないという意味を含んでいる。

医師法第 20 条「無診療治療等の禁止」では、死亡診断書は診療中の患者が受診後 24 時間以内に死亡の場合は「死亡診断書」を交付できるとしている。

このことに誤解があるようである。死亡前 24 時間以内に診察していない患者については、「改めて診察しても、死亡診断書を書くことができない」と解釈し、「警察へ届け出なければならぬ」と考えられていることである。

但し書きがあり「生前の診察後 24 時間を経過した場合であっても、死亡後改めて診察を行い、

生前に診察していた傷病に関連する死亡であると判定できる場合には、死亡診断書を交付することができる」。

この但し書きの解釈・運用についての質疑が国会で行われた。平成 24 年 7 月に開催された参議院の『社会保障と税の一体改革に関する特別委員会』で民主党議員が、医師法第 20 条のただし書きについて質問し、厚労副大臣が解釈を周知すると約束、厚労省医政局は 8 月都道府県に対して「医師法第 20 条ただし書の適切な運用について」という通知を出した。誤解が在宅医療推進の妨げになりかねないとの危惧があったものと思われる。

表．在宅死の問題

1. 死体に異状がないか確認する
2. 医学的に妥当な直接死因を診断する
3. 死亡時刻を明らかにする(推定する)
4. 死亡診断書にするのか死体検案書にするのか判断する

24 時間以上経過していても死亡確認し、異状が認められず、最終受診時の疾患に起因すると診断すれば「死亡診断書」を交付できる。

さらに但し書きに、「診療中の患者が死亡した後、改めて診察し、生前に診察していた傷病に関連する死亡であると判定できない場合には、死体の検案を行うことになる。この場合におい

て、死体に異状があると認められる場合には、警察署へ届け出なければならない。」

しかし、「死体の検案」は慣れない医師では困難であろう。最小限、外表面に外傷がないかどうかの確認が必要で、衣類を脱がす必要がある。頭髮部での確認は難しい。ご遺体が時間を経ており損傷が強い場合は不可能である。

さらに死因・死亡時刻をどうするかは極めて難しい。警察と行う検死の場合はご遺体に限れば通常、外表面の観察、直腸温の測定(死亡時刻の推定)、髄液の採取、心筋トロポニンT検査を行う。それによって死因・時刻を推定する。

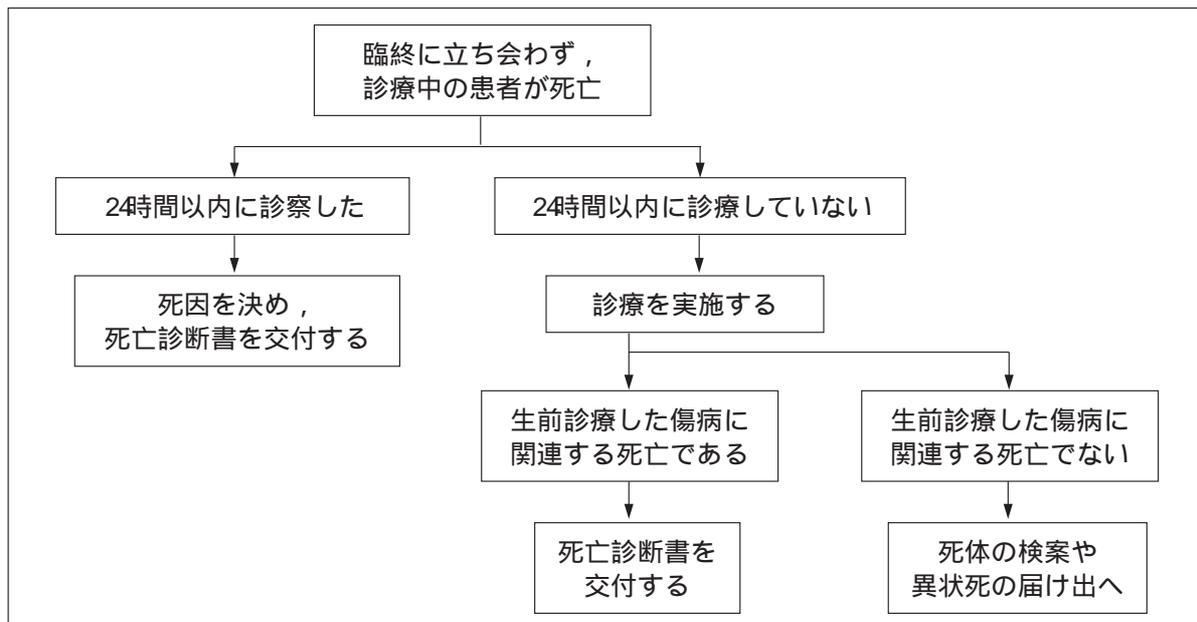
状況で異状の場合がある。終末期の錯乱で室内が混乱していたり、裸体に近い状態のことがある。例えば消化性潰瘍や食道静脈瘤の吐血は血痕があり、原疾患に因るものであっても届け出た方がよい。

状況の異状で実は、入浴中の急死が最も多い。現在、高齢者の突然死の 25%が入浴中に発生、年間約 17,000人が死亡していると推定される。とくに 1人暮らしの人の冬が危ない。法医学では「高齢者入浴中突然死症候群」の概念がある。入浴中の死亡は溺死(外因死)によると考えられ

がちだが、多くは基礎疾患の発症に起因する。基本的には病死である。死因を溺死の外因死とすると事故死となり、生命保険の問題が生じてくる可能性がある。届け出るべきである。

遺族に対しては、予期できない突然死は起こりうる。現病歴から医学的に不自然はないと説明する。納得できないと言う場合は「異状死」として警察に届け「検死」となる。そうになると数時間かかり、警察官から医療関係者をはじめ、家族も事情聴取を受ける。また、死因究明には病理解剖や行政解剖もあるが、条件があり解剖に至るハードルは高い。通常、家族はそのような事態は望まない。しかし、遺族のなかにクレマーがいたり、保険や遺産関係でこじれる可能性がある。そのような場合は将来の不測の事態を避けるために異状死として警察に届け出て検死にした方が良いかも知れない。日常の診療の継続の場合、問題となることは少ない。

思いがけないケースの結末は、結局は信頼関係と誠実な対応に左右される。それが次の思いがけない事態になるかならないかを分けるのではないか。



図・死亡診断書(死体検案書)を交付するまでの流れ(日経メディカル 2012.10.p 4を改変)

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。また、M M A 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 ([http //w w w m iyazaki.m ed .or .jp /](http://www.miyazaki.med.or.jp/)) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名 医籍登録番号を入力

パスワード 生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950年 11月 2日生まれの場合, 501102

M M A 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

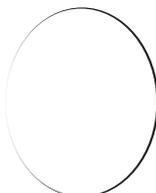
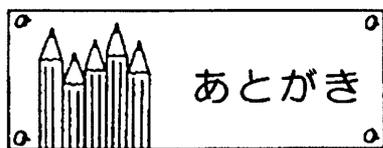
(TEL 0985-22-5118)。

送付日	文 書 名
4月17日	・内閣官房「中国における鳥インフルエンザA(H7N9)への対応について」(平成25年4月16日現在)
4月18日	・「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準等の一部改正等について」及び「平成25年度以降に実施される特定健康診査及び特定保健指導に関する電磁的方法により作成された記録の取扱いについて」等の送付について ・妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果等について ・母子保健法施行規則の一部を改正する省令の公布及び母子健康手帳の記載事項の取扱いについて
4月19日	・各がん検診実施機関等登録(指定)名簿について(送付) ・新型インフルエンザ等対策特別措置法施行令等の公布について(送付) ・地域リハビリテーション広域支援センターの指定について ・中国の鳥インフルエンザA(H7N9)に関する検疫所の対応について
4月22日	・内閣官房「中国における鳥インフルエンザA(H7N9)への対応について」(平成25年4月17日) ・厚生労働省通知「医療法人の附帯業務について」の一部改正について
4月24日	・「クォンティフェロンTBゴールド用採血管の使用の中止」を受けて、今後の対応について
4月26日	・HbA _{1c} 検査の表記変更、及び糖尿病治療におけるHbA _{1c} の血糖コントロール目標の改訂に関する啓発資料について
4月30日	・新型インフルエンザ等対策特別措置法施行令等の公布について ・地域における保健師の保健活動について ・厚生労働省感染症指定医療機関における人工呼吸器及び体外式膜型人工肺の保有状況等調査について ・(記者発表)食中毒の発生について ・「病原微生物検出情報」の送付について
5月2日	・「診療録等の保存を行う場所について」の一部改正について(平成25年3月25日)の一部訂正について(通知)

送付日	文 書 名
5月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25年度インフルエンザ_{H A} ワクチン製造株の決定について</li> <li>・特定の病床等の特例の事務の取扱いについて(通知)</li> <li>・鳥インフルエンザ_{A(H N 9)}ウイルス感染事例に対する積極的疫学調査実施要領(暫定版)及び感染症に関する臨床情報のまとめの送付について</li> <li>・鳥インフルエンザ_{H N 9}を指定感染症として定める等の政令の施行等について</li> <li>・「宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」の一部改正について</li> <li>・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 13条第 1 項の規定に基づく届出の基準について」の一部改正について</li> <li>・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12条第 1 項及び第 14条第 2 項に基づく届出の基準等について」の一部改正について</li> <li>・鳥インフルエンザ_{H N 9}を指定感染症として定める等の政令の施行等について</li> <li>・鳥インフルエンザ_{H N 9}ウイルス感染症に関する臨床情報のまとめの送付について</li> <li>・宮崎県特定健診・特定保健指導に関する実践者育成研修会の開催について(依頼)</li> </ul>
5月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定における DR( FPD )写真及びCR 写真の取扱い等について」の一部改正について</li> </ul>
5月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25年度安全週間の実施に伴う協力依頼について</li> <li>・第 4回日本糖尿病対策推進会議総会の開催について</li> <li>・「中国における鳥インフルエンザ_{A(H N 9)}の国内検査体制について(情報提供)」の一部改正等について</li> <li>・平成 25年度宮崎県地域がん登録事業実務担当者研修会について</li> <li>・宮崎県地域がん登録モデル事業参加医療機関の募集について(依頼)</li> </ul>
5月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の鳥インフルエンザ_{A(H N 9)}に関する検疫所の対応について</li> <li>・宮崎県子宮がん検診実施要領の一部改正について(通知)</li> </ul>
5月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25年度医療の質の評価・公表等推進事業の申請受付について(通知)</li> <li>・特定の病床等の特例の事務の取扱いについて</li> </ul>
5月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中国における鳥インフルエンザ_{A(H N 9)}の国内検査体制について」の一部改正について</li> <li>・先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策への協力について(依頼)</li> <li>・予防接種による副反応の保護者等からの報告の取扱いについて</li> <li>・「クオンティフェロン_{T B} ゴールド用採血管の使用の中止」を受けた今後の対応について</li> </ul>
5月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健師助産師看護師国家試験出題基準」の改定について</li> </ul>
5月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター共催 平成 25年度「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の開催について</li> </ul>
5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新医薬品の再審査結果 平成 25年度(その 1)について</li> <li>・麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について</li> <li>・医療施設における今夏の電力需給対策について</li> </ul>
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25年度医療の質の評価・公表等推進事業の申請受付について</li> </ul>

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
e	d	e	d	a	e	a , b , e	b	a



今年の2月に放映されたNHKスペシャル番組に強烈なインパクトを受けました。当日偶然見たにすぎなかったのですが、ノンフィクション作家沢木耕太郎氏の真実を追い求める強い信念と、2年以上にもおよぶ粘り強く綿密な取材には本当に頭が下がります。1936年に勃発したスペイン内戦で、共和国軍の兵士が敵軍の銃弾を浴びてまさに倒れる瞬間を1枚の写真に収めた、戦場写真家ロバート・キャパの「崩れ落ちる兵士」の作品に隠された事実を明らかにしていく番組です。キャパはこの写真1枚により世界的名声を得、作品そのものが「世紀の戦争写真」と称されております。沢木氏はスペインの現場だけではなく、フランスや米国でも丹念に情報収集しております。実はこの写真が戦場とは異なる場所で撮影され、兵士は撃たれておらず演習中に偶然足を滑らしたにすぎないこと、さらに、本当の撮影者は彼と同行していた彼の恋人でもある戦場写真家のゲルダ・タローであったことを明らかにしたのです。キャパは当時からの写真についての詳細を語ろうとはしなかったようです。間もなくゲルダは戦場で戦車の下敷きとなり不慮の死を遂げております。偽りのために背負った十字架があまりにも重すぎたのか、その後キャパはノルマンディー上陸作戦の戦場で飛び交う銃弾をものともせず、もう一つの名作(本当の名作と呼ぶべきか)「波の中の兵士」を撮影するに至ります。その後キャパはベトナム戦争のさなか、地雷に巻き込まれてその生涯を終えております。沢木氏自身、単行本「キャパの十字架」の中で「私がしたかったことはキャパの虚像を剥ぐということではなく、本当のことを知りたかっただけなのです」と述べておりますが、真実を追い求める強靭さに、ただただ脱帽です。

(黒川)

* * * * *

先日、大分の臼杵まで用があり車で走ってきました。宮崎西～都農、日向～延岡南、佐伯～臼杵と、出来上がったばかりの東九州自動車道全てを通りました。高鍋までしか通じてなかった頃は臼杵まで4時間以上かかっていたのが3時間少々で行けました。対向2車線がほとんどで不満でしたが、道路自体はスムーズで非常に走りやすく気持ちの良い道でした。(聞くところによると高鍋以降はコンクリートの厚みがそれ以南よりかなり厚くなっているそうで、宮崎西～西都間にあるような道のうねりがないとのこと。)とはいえ、とびとびなので下の道を走る時間的口は免れません。救急車等緊急車両が早くスムーズに走っていけるようにできるだけ早く全線開通することを切に望みます。

(釜付)

* * * * *

今年も宮崎の夏を知らせる国際音楽祭が開催されました。201年には震災、放射能問題?で音楽祭への参加をキャンセルした演奏家がいた一方、日本のため、宮崎国際音楽祭のために急遽来日して演奏をしてくださったのが現代の巨匠ズーカマンでした。以後三年つづけて彼の豊潤で美しい音色のヴァイオリン演奏を聴けるとは幸せの極致です。今年はその奥さんでチェリストのアマンダの骨折というハプニングがあり(いつも高いハイヒールを履いていたのでいつかは怪我をするんじゃないかと一部でささやかれていた)プログラムが変更になりました。おかげで有名なモーツァルトのヴァイオリン協奏曲 第3番を聴くことができました。ただ残念なのは結構空席がみられたことです。来年もズーカマンが来てくださるはずですので、彼の演奏を沢山の人の手に聴いてほしく思います。

(沖田)

* * * * *

息子が4月で2歳になりました。2歳では2語連続で話すことが、発達の目安なのらしいですが、単語1語のみしか話しませんでした。なかなかしゃべらないなあ、と思っておりました。先日、息子の目の前でおならをしたところ、私の方を指さしなが

ら「ママ、プープー」と言いました。初めての2語がママプープーだなんて、なかなか人には言えないなあ…。と思いつつあとがきに書かせていただきました。

(大野)

* * * * *

早いもので、私が広報委員を担当させていただき1年が経過しました。広報委員会に参加させていただいたことで、医療における消費税制度の問題など、様々な医療業界の話題を知ることができました。4月から病院実習が始まったばかりの私にとって、どの話題も新鮮で医療業界について分からないことが多々ありますが、受け身になり過ぎず少しでも積極的に発言できるように意識したいと思います。今年度もよろしく願いいたします。

(陣門)

* * * * *

今年度から学生委員を務めさせていただくこととなりました。宮大医学部4年の原尾と申します。医学部の4年生といいますが、臨床の講義が本格的に始まりますが、同時に幹部学年として部活や大学祭などを引っ張っていく立場の学年でもあります。早くも折り返し地点まで来てしまった大学生活の残り半分を、色々なことにチャレンジしながら過ごしていけたらと思っております。しばらくは、広報委員会の方では新入生ということになりますが、少しでもお役に立てるよう努力していきたいです。

* * * * *

この春、一つの大きな仕事を卒業しました。息子が中学、高校在学中に6年間努めたPTA役員です。就任時には想像もしなかった多くの業務に戸惑いつつも、次々とせまる行事に立ち止まるわけにもいかず、とにかく駆け抜けたという感じです。大変忙しい日々でしたが、それらは「楽しい忙しさ」であったと思います。多くの素晴らしい先生や保護者の方々と巡り会い、仕事以外の新たな友人も増え、私自身が第2の学生生活を送ったような気分です。お世話になった皆さまに感謝です。

(荒木)

* * * * *

## 今月のトピックス

### 日州医談 医師国民健康保険組合の現況について

国民皆保険制度維持のために、「保険証一枚で自由に医療機関を受診できるフリーアクセス」から「必要な時に適切な場所で、適切な医療を最少の費用で給付する」システムに改革する必要性が強調されています。医師国保組合においては組合員の所得水準が高いという理由から、財政力に応じた「普通調整補助金」だけでなく、法律で定められた保険組合への国の負担事項である「定率国庫補助金」さえ見直すという方向性が打ち出されました。平成 22年に発覚した全国建設工事業国保組合における多数の無資格加入者問題は各国保組合に飛び火し、医師国保組合としても「組合員の資格確認調査」を実施せざるを得ない状況です。高橋政見理事から会員の皆様へ、ご説明とご協力をお願いします。 4 ページ

### お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集

日州医事 7・8月号に毎年夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画します。今回もテーマは設定せず、診療閑話、趣味、旅行記、スポーツ談義、詩、短歌、俳句など何でも結構です。皆様のご寄稿を心よりお待ちしております。 11ページ

### 診療メモ 在宅死に係る諸問題

医師法 2条に絡む「異状死体と届け出義務」の拡大解釈問題が解決したのは記憶に新しいところです。今回は、かかりつけ医や在宅医療に係る医師にとって非常に重要な「医師法 20条(無診療治療等の禁止)」と死亡診断書交付の是非に関するご寄稿です。「死亡前 24時間以内に診察していない患者」に対して死亡診断書を交付できるのか? 死体の異状だけでなく「状況の異状」の場合の対処法は? 大西雄二先生が詳細にわかりやすく解説してくださいました。 58ページ

日 州 医 事 第 76号 (平成 25年 6月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満, 黒川 基樹

委 員 篠原 立大, 姫路 大輔, 明里 知美, 川上 勲

釜付 弘志, 沖田 和久, 大野 妙子, 陣門 洋平, 原尾 拓朗

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子, 荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)